2015 年静岡県最低生計費試算調査結果報告書 --30 代・40 代・50 代世帯類型別の結果--

2017年3月29日

静岡県立短期大学 准教授 中澤 秀一

はじめに

2016年5月に公表した静岡における最低生計費試算調査では、静岡市駿河区在住の25歳単身者がきちんとした生活をするためには、男性=月額246,659円、女性=月額245,622円(ともに税等込み)が必要であることが明らかとなった。これは年額に換算すると約295万円前後であり、最低賃金額引き上げ要求の強い根拠となっている。

本報告は、30代・40代・50代で未婚子のいる世帯について試算したものである。単身者の結果と同様に、静岡県できちんとした生活をするためには、各世帯類型でどれだけの費用がかかるのかを明らかにすることで、様々な要求運動(春闘の賃金討議の素材、公契約運動推進においての賃金設定の基礎、人事院の標準生計費に対する批判の根拠等)に利用できるであろう。また、未婚子のいる世帯の結果は、深刻な社会問題となっている「子どもの貧困」について、その解決の出発点となるデータを提供できるであろう。

1. 調査の概要

最低生計費試算調査の目的は、生活実態調査や手持ち財調査等を実施し、それらの調査結果と他の統計資料を組み合わせて、若年単身世帯をはじめとした世帯モデルごとに、生活に必要な費目を積み上げた、きちんとした生活=「健康で文化的な最低限度の生活」を送るための最低生計費を算出することである。

今回実施された調査は、以下の3つの調査である。

- ①生活実態調査:調査対象者とその世帯の大まかな生活実態を把握し、最低生計費を試算する基礎 資料とした。調査項目数48。調査時期は2015年11月~2016年2月。
- ②手持ち財調査:生活実態調査の際に、調査対象世帯が持っている物とその数量をすべて記入して もらい、最低限度の生活を営むための必需品を決める際の基礎資料とした。調査項目数は 19 分類計 330 品目。
- ①および②のデータをもとに、当該世帯モデルの当事者に集まってもらい、合意形成会議を開催し、 生活パターン(昼食をどこで何を食べるか、買い物先)や保有させるものを確定させる作業を行う。
- ③価格(市場)調査:合意形成会議を経て決まった事項をもとに、最低生計費の試算対象となる世帯モデルの居住地域(静岡市)において、家賃や持ち物財調査で設定した必需品などの価格調査を実施した。主な調査時期は2016年3月と2016年12月。

これらの 3 調査に統計資料を利用した食料費、光熱・水道費、通信費、教育費などの試算結果を組み合わせて、最低生計費の試算を行った。試算にあたっては、後述のように対象となる世帯モデル(夫婦と未婚子 2 人からなる世帯モデル)を設定した。

調査票は全体で 1670 部を回収 (回収率 41.8%)。なお、このうち、30 歳代夫婦+未婚子世帯の回答数は 109 部、40 歳代夫婦+未婚子世帯の回答数は 157 部、50 歳代夫婦+未婚子世帯の回答数は 155 部であった。

2. 算定の対象となるモデルと地域

- (1) 対象モデル
- 1)30代世帯モデル(30代夫婦、小学生と幼稚園児の4人世帯)

夫は 30 代で正規従業員として勤務、妻は 30 代で無職ないしパートタイマーとして勤務(夫の扶養家族)、子どもは小学生(公立)と幼稚園児(私立)と想定した。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、2010年調査の家族モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分を考慮して、小学 $3\cdot4$ 年生女性($8\sim9$ 歳)、幼稚園児男性($3\sim5$ 歳)としている。

未就学児を幼稚園児としたのは、静岡市で3歳以上の教育・保育事業利用状況をみると、3歳児で

幼稚園が 61.3%、(認可) 保育所が 35.7%、4 歳児で幼稚園が 61.7%、保育所が 36.9%、5 歳児で幼稚園が 59.6%、保育園が 37.8% (平成 25 年度静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」) であったことと、保育所児の場合には保育料等の試算が複雑となるからである。

2) 40代世帯モデル(40代夫婦、中学生と小学生の4人世帯)

夫は 40 代で正規従業員として勤務、妻は 40 代で無職ないしパートタイマーとして勤務(夫の扶養家族)、子どもは中学生(公立)と小学生(公立)と想定する。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、2010 年調査の家族モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分を考慮して、中学 $1\sim3$ 年生男性($12\sim14$ 歳)、小学 $3\cdot4$ 年生女性($8\sim9$ 歳)とした。

3)50代世帯モデル(50代夫婦、大学生と高校生の4人世帯)

夫は 50 代で正規従業員として勤務、妻は 50 代で無職ないしパートタイマーとして勤務(夫の扶養家族)、子どもは大学生(首都圏にある国公立大学)と高校生(公立)と想定する。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、首都圏調査(2008 年)等の家族モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分を考慮して、大学生男性($18\sim21$ 歳)、高校 $1\sim3$ 年生女性($15\sim17$ 歳)とした。

(2) 居住地域

居住地域としては、**静岡市駿河区**を想定した。また、公共**交通機関が使いにくい郊外に居住し**、市 街地もしくは近隣の市にある会社に勤務していると想定している。

3. 算定の方法

(1) 家具・家事用品、被服及び履物、教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品、理美容用品、身の回り用品などは、持ち物財調査にもとづいて、**原則7割以上の保有率**の物を最低限必要な必需品と考え、それぞれの費目ごとに積み上げて算定した。7割以上を原則とする(いいかえれば、7割未満でも必需品とする場合がある)のは、以下の理由による。手持ち財によっては、代替品が多く、保有率が7割に達しない場合がある。例えば、ストーブの場合、電気ストーブ・石油ストーブ・ガスストーブに保有が分散し、いずれも7割に達しないが、これらを合計すると7割を超えている。あるいは電気ポットの保有率は7割に達しないが、「やかん」を合わせると10割に達している。このような場合には、その中の最も保有率の高いもの、あるいは合意形成会議での聞き取りなどにより特定したものを必需品としている。さらに、本箱・本棚、目覚まし時計、砂糖入れ、小学生用のランドセルやヘルメットなどで、保有率が7割に達しない場合でも、当該世帯モデルで当然保有していると考えられるものは、合意形成会議の検討を経て、必需品とした。

持ち物財の使用年数については、国税庁「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表(耐用年数表)およびクリーニング事故賠償問題協議会「クリーニング事故賠償基準」(2015年4月1日改訂、10月1日施行、以下、「基準」と略記)の「平均使用年数」を参考にした。なお、「平均使用年数」は、同じ品目でも品種や用途等が異なる場合、原則として長い年数を、素材が異なる場合、「その他」の年数を用いた。

持ち物財のうち、被服・電化製品・食糧雑貨等の主な購入先について、生活実態調査に基づき想定した。これによれば、世帯類型により多少の違いは認められるが、最も多いのが、「大手スーパー・量販店」(29.0%~86.3%)。次いで「専門店」(0.9%~41.9%)であった。したがって、静岡市内にある 4 つの「大手スーパー・量販店」で 2016 年 3 月中旬と 2016 年 12 月に価格調査を実施した。

価格調査は、各必需品についてその店の最低価格、最多・標準価格、最高価格を調べた(同種の品目について複数の店舗で価格を調査した場合は、それらの平均価格を用いた)。当該品目が調査対象の店で販売されていない場合は、ネット通販等で価格を調査した。被服・履物・自転車など大人用と子ども(幼児と小学生)用で異なる品目については、子ども用品の価格を調べた。

被服・履物・身の回り用品のうち、礼服・喪服一式・背広・オーバーコート・ジャケット・アンサンブル・ワンピース・靴・ブーツ・ネクタイ・財布・腕時計(大人用のみ)・イヤリング・ピアスなど

の外出用品目(「4.最低生計費の試算」の各表で※の付いた品目)の価格については、「人前に出て恥をかかないように」最低価格を避けて、最多・標準価格を、それ以外の品目については、最低価格を用いて試算した。日刊新聞については、静岡県地域で購読世帯が過半を占める静岡新聞の価格(朝夕刊セット)を、書籍については、統計資料に掲載されている平均価格を用いた。なお、年1回、クリーニングに出す被服を、男性用の背広・オーバーコート、女性用の喪服・アンサンブル・ワンピース・オーバーコートとし、各1着の料金を1,050円(消費税込み、インターネットによる調査)とした。

持ち物財の数量(消費量)については、原則として、少ないほうから数えて合計 3 割の人が保有する数を算定基準とした1。ただし、データの 30 代~50 代世帯の人数は、当該世帯モデルの人数(4 人)より少ない場合も含まれているため、この算定基準では数量が過少となることがある(たとえば、4 人分の敷き布団が必要なのに 3 人分と算定されてしまう)。したがって、明らかに数量が過少な品目については、世帯モデルに照らして修正した。

また、持ち物財の品目によっては、大人用と子ども用で価格にかなり差がある。しかし、手持ち財調査では、大人用と子ども用に区別して数量を調べていないので、当該品目の数について、世帯モデルの家族構成も考慮しつつ、大人と子ども(幼児と小学生)の人数を案分比例してそれぞれの数量を求めた(整数にならない場合は、原則として、大人用の数を切り捨て、子ども用の数を切り上げた)。

(2) 食料費については、総務省「家計調査 2015 年」(品目分類、全国、二人以上世帯の年間収入が最も低い第 I 五分位階層) の各費目の購入数量及び 100g 当たりの平均価格から、4 つの食品群の食品 ごとに各構成品目の加重平均によって消費単価を計算した(表 1、ただし、嗜好品については、100kcal 当たりの価格で算出) 2 。

双1 4 207 段 III 4 7 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
	第1	乳・乳製品	25.03	円			
	第1群	即	29.32	円			
	第2群	魚介・肉	161.46	円			
	舟 4 杆	豆・豆製品	23.63	円			
食品群	第3群	野菜・海藻	42.05	円			
		いも類	32.07	円			
		果物	44.19	円			
		穀類	46.43	円			
	第4群	砂糖	20.54	円			
		油脂	47.96	円			
嗜妇	74.16	田					

表1 4つの食品群別食品と嗜好品の消費単価

注)4つの食品群は100g当たり、嗜好品は100kcal当たりの消費単価である。

次に、香川芳子監修『食品成分表 2015 資料編』(女子栄養大学出版部、2015 年) にもとづき、 試算対象世帯モデルに対応する年齢層と性別に1日当たりと1カ月(30日)当たりの推定エネルギー 必要量(カロリー)を求め(表2)、「4つの食品群の年齢別・性別・身体活動レベル別食品構成(1人 1日当たりの重量=g)」(香川芳子・女子栄養大学教授案)にもとづいて必要な栄養を満たすように、 食料費を試算した。すなわち、年齢別・性別・食品群別の食品構成量(身体活動レベルIIの重量)に

^{1 30}代~50代世帯(回答者)のほとんどが「正規職員・従業員」であり、非正規従業員に比べて平均収入が高いため、持ち物財の数量も多いと思われる。このことを修正するために、「下から3割」の数量を算定基準とした。また、貧困率の指標の一つである相対的貧困率も等価可処分所得の中央値の半分を貧困線としており、この点からも「下から3割」を算定基準とすることに妥当性があろう。なお、回答者の多数が非正規従業員の場合には、「下から3割」でなく、たとえば、平均値や最頻値などを基準に算定すべきと考える。

² 年間収入階層が高くなるほど、より高級な食材を使ったり贅沢品を食べたりするために、消費単価が高くなると思われる。食料費の最低限を、最も安価で必要な栄養を摂取できるところで決めるべきとするならば、年間収入の最も低い第 I 五分位階層により消費単価を算出することが妥当であろう。

表 1 の消費単価を掛けて、1 日当たりの推定エネルギー必要量の 95%を摂取するためにかかる金額を計算した(表 3)。

表2 年齢別・性別の推定エネルギー必要量

	1日当たり必要量	30 日当たり必要量
3~5 歳男性	1,300 kcal	39,000 kcal
8~9 歳女性	1,700 kcal	51,000 kcal
12~14 歳男性	2,600 kcal	78,000 kcal
15~17 歳女性	2,300 kcal	69,000 kcal
18~29 歳男性	2,650 kcal	79,500 kcal
18~29 歳女性	1,950 kcal	58,500 kcal
30~49 歳男性	2,650 kcal	79,500 kcal
30~49 歳女性	2,000 kcal	60,000 kcal
50~69 歳男性	2,450 kcal	73,500 kcal
50~69 歳女性	1,900 kcal	57,000 kcal

注)エネルギー必要量は、身体活動レベルⅡ (ふつう) の数値である。

表3 1日当たりのエネルギー必要量を摂取するのにかかる金額(未婚子のいる世帯用)

		年齢	3~5	8~9	12~14	15~17	18~	~29	30~	~49	50~	~69
		性	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	乳・乳	重量 (g)	250	330	400	330	300	250	250	250	250	250
第	製品	金額(円)	62.59	82.61	100.14	82.61	75.10	62.59	62.59	62.59	62.59	62.59
群	ЙI	重量 (g)	30	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	الج	金額 (円)	8.80	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66	14.66
	魚介・	重量 (g)	60	80	160	120	140	100	140	100	140	100
第二群	肉	金額 (円)	96.87	129.17	258.33	193.75	226.04	161.46	226.04	161.46	226.04	161.46
群	豆・豆	重量 (g)	60	80	100	80	80	80	80	80	80	80
	製品	金額 (円)	14.18	18.90	23.63	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90	18.90
	野菜•	重量 (g)	240	300	350	350	350	350	350	350	350	350
	海藻	金額 (円)	100.93	126.16	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18	147.18
第三群	いも類	重量 (g)	30	60	100	100	100	100	100	100	100	100
群	V · D 規	金額 (円)	9.62	19.24	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07	32.07
	果物	重量 (g)	150	200	200	200	200	200	200	200	200	200
	米1 00	金額 (円)	66.29	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38	88.38
	穀類	重量 (g)	170	220	330	320	400	260	400	270	370	260
	秋炽	金額 (円)	78.93	102.14	153.21	148.57	185.71	120.71	185.71	125.35	171.78	120.71
第四群	砂糖	重量 (g)	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10
群	リンが音	金額 (円)	1.03	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05	2.05
	油脂	重量 (g)	10	15	25	25	30	20	30	20	25	15
	(四月日	金額(円)	4.80	7.19	11.99	11.99	14.39	9.59	14.39	9.59	11.99	7.19
	合計金額	(円)	444.02	590.51	831.65	740.18	804.5	657.6	791.98	662.25	775.65	655.21

注1) 香川芳子監修『食品成分表 2015 資料編』(女子栄養大学出版部、2015年)をもとに作成。

- 2) 推定エネルギー必要量(身体活動レベルⅡ) の95%で構成。
- 3) 端数処理の関係で金額の末尾の数値は試算により異なる場合があるし、各金額の計と合計額は必ずしも一致しない。
- 30 代~50 代モデル世帯については、上記表3-1の各合計金額から、香川氏の試案にもとづきエ

ネルギー必要量の 10%を嗜好品でまかなうようにして、各年齢別・性別に 1 日のエネルギー必要量の 金額を算定しなおすと、表 4 のようになる。

	エネルギー	一必要量の	嗜好品(エ	ネルギー	合計(1000/)
	90%		必要量の 10%)		口 目 (-	100%)
	量(kcal)	金額(円)	量 (kcal)	量 (kcal) 金額 (円)		金額(円)
3~5 歳男性	1,170	420.65	130	96.41	1,300	517.06
8~9 歳女性	1,530	559.43	170	126.08	1,700	685.51
12~14 歳男性	2,340	787.88	260	192.82	2,600	980.70
15~17 歳女性	2,070	701.22	230	170.57	2,300	871.79
18~29 歳男性	2,385	762.16	265	196.53	2,650	958.69
18~29 歳女性	1,755	622.99	195	144.62	1,950	767.61
30~49 歳男性	2,385	750.30	265	196.53	2,650	946.83
30~49 歳女性	1,800	627.39	200	148.32	2,000	775.72
50~69 歳男性	2,205	734.83	245	181.70	2,450	916.53
50~69 歳女性	1,710	620.72	190	140.91	1,900	761.63

表4 嗜好品を加えた1日のエネルギー必要量と金額(年齢別・性別)

上記表 4 に示した合計金額は、各人がすべて家で食事をした場合の 1 日の食料費を意味する。しかし、実際には、食事の一部に外食(会食や学校給食など)が含まれているし、食べ残しもあるので、このことを考慮しなければならない。そこで、朝食・昼食・夕食について、生活実態調査の結果、それぞれどこでどのような食事の仕方をしているのかにもとづいて食料費を計算した。昼食に自宅から弁当を持参する場合は家で食事をしたものとし、外食(職場の食堂利用や弁当購入などを含む)については、コンビニ弁当を購入するものとしてエネルギー量と費用を設定した(表 5)。また、仕事の帰りや休日のお酒や会食については、その典型的な内容とエネルギー量を設定し(表 6)、生活実態調査の結果から、その回数と費用にもとづいて算定した。給食についても、幼稚園・小学校・中学校における給食のエネルギー量と費用を調べて計算した(表 5)。

なお、家での食事の場合、食べ残しの廃棄率を5%と想定した。こうして、最終的に1カ月(30 日分)の食料費を求めた。

20 10 10 1 1 10 20 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11					
	エネルギー量	金額(1食又は月	備 考		
	(1食)	額)			
コンビニ弁当	730kcal	1 食 550 円			
職場給食	743 kcal	1 食 400 円	カロリーは静岡市内の給食業者の 10 月 1 か月のメニ		
			ューの平均値		
幼稚園給食	500kcal	月額 3,400 円	静岡市内の私立幼稚園の場合、年間実施日数 158日(週		
			4回:1日は弁当持参とする)		
小学校給食	650kcal	1 食 256 円	静岡市立小学校の場合、実施日数 178 日		
中学校給食	820kcal	1 食 287 円	静岡市立中学校の場合、実施日数 178 日		

表5 コンビニ弁当および各種給食のエネルギー量と金額

表6 会食(外食)の内容と1回のエネルギー量

注 1) 幼稚園給食のエネルギー量は、文部省体育局長通達「幼稚園における給食の実施について」(1961 年 3 月 31 日) より。給食費は、私立幼稚園 2 カ所の調査から低い方を採用した。

²⁾小学校および中学校給食の費用、実施回数、エネルギー量等は、静岡市ホームページ、静岡市学校給食センター運営協議会議事録による。

	内容 () 内の数値は各品目のエネルギー量	エネルギー量
	(kcal)	(計)
若年単身者	枝豆(100)、鶏から揚げ(400)、おでん(350)、刺身(220)、	1,307kcal
(参考)	ビール(中ジョッキ)(160)、緑茶割り(77)	
夫	鶏から揚げ(400)、串焼き(650)、刺身(110)、ビール(中	1,557kcal
	ジョッキ)×2(320)、緑茶割り(77)	
妻	ピザ・マルゲリータ(720)、コンソメスープ(30)、サラ	1,115kcal
	ダ(95)、ジェラート(130) 、レモンティー(140)	
小学生~高校	ハンバーグステーキランチ(712)、レモンティー(140)	852kcal
生		
幼児	キッズカレープレート(600)、オレンジジュース(102)	702kcal

(3) 住居費については、民間借家を想定して試算した。居住面積については、国土交通省「住生活基本計画 (全国計画)」(2011 年 3 月 15 日閣議決定、計画期間は 2010 年度から 2020 年度)による「最低居住面積水準」にもとづき、30 代世帯モデルは 42.5~m、40~代世帯モデルは 47.5~m、50~代世帯モデルは デルは 50~mとした。

家賃については、30 代~50 代世帯モデルの場合は、静岡市駿河区にある民間賃貸住宅の家賃を、それぞれインターネットの「不動産・住宅サイト」により調査したところ、下記のとおりであった。「築 34 年以下」としたのは、建築基準法による現在の耐震基準が 1981 年 6 月 1 日に導入されたことを考慮したためである。

 $42.5 \text{ m}^2 \sim 45 \text{ m}^2$ の民間賃貸アパート・マンション(間取り $2\text{LDK} \cdot 3\text{DK}$ で 18 件該当)では、家賃の最低が 4.3 万円(築 22 年)、最高が 7.3 万円(築 23 年)で、大半は 5 万円台 ~ 6 万円台であった。

47.5 ㎡~50 ㎡の民間賃貸アパート・マンション(間取り 3DK で 28 件該当)では、家賃の最低が 4.5 万円 (築 21 年)、最高が 7.5 万円 (築 24 年) で、大半は 5 万円台~6 万円台であった。

 $50 \text{ m}^2 \sim 55 \text{ m}^2$ の民間賃貸アパート・マンション(間取り 3DK で 47 件該当)では、家賃の最低が 4.3 万円(築 35 年)、最高が 8.6 万円(築 24 年)で、大半は 5 万円台 ~ 6 万円台であった。

以上の結果をもとに生活実態調査結果も考慮して家賃を設定した。また、更新期間や更新料についても、生活実態調査にもとづき算定した。なお、共益費(管理費)は、「(11) その他の消費支出」の④に計上した。

(4)教育費(子どもの分のみ)は、以下のように試算した。まず、幼稚園児から高校生の教育費については、文部科学省「平成 26(2014)年度子供の学習費調査」(隔年調査)にもとづき算定する。学年(年齢)別学習費支出状況の結果から、次の条件を満たす「支出者平均額」(各経費を支出した者の平均額)を積算して求めた。①支出率(各経費を支出した者の比率)が原則 7割以上(例外 65%超)の費目を算定する。②制服を除き、対象学年層(年齢層)のうち過半数の年齢区分で支出率が原則 7割未満(例外 65%以下)の費目は算定から外す(たとえば、3~5歳であれば 2つ以上の年齢区分で原則 7割以上の支出率でなければ算定から外す。小学 3・4年であれば両学年とも原則 7割以上の支出率でなければ算定から外す。小学 3・4年であれば両学年とも原則 7割以上の支出率でなければ算定から外す。小学 3・5 集であれば両学年とも原則 7割以上の支出率でなければ算定から外す。小学 3・6年であれば両学年とも原則 7割以上の支出率でなければ算定から外す。④「通学費」・「スポーツ・レクリエーション活動」・「教養・その他」費目は、支出率が原則 7割以上であっても、食費や交通費あるいは教養娯楽費などで算定するので、教育費から外す。④「通学用品費」・家庭内学習費の「物品費」なども、身の回り用品や家具・家事用品費などと重複する場合には、算定から外す。

大学生の教育費は、日本学生支援機構『平成 26(2014)年度学生生活調査』(隔年調査)を用いる。 ただし、この調査では、入学金(料)が除外されているので、首都圏にある国立大学の入学金を参考 にして 282,000 円を加算した。

なお、文部科学省「子供の学習費調査」では各費目の細かな内訳の支出率や金額が不明のため、教育費の推計は概算とならざるを得ない。よって、その推計に際しては、物価指数を加味して調整せずに 2014 年度調査の費用をそのまま計上している。

(5) 教養娯楽サービスについては、生活実態調査の結果から、日帰り旅行の回数、費用、1 泊以上の旅行の回数、費用にもとづいて算定した。その他、余暇・休日の過ごし方を調査し、その結果にもとづいて算定している。

教養娯楽費として、教育娯楽耐久財、教養娯楽用品、教養娯楽サービスなどの費用、NHK 受信料、インターネット接続料を計上している。

教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品の費用は、(1)で述べた方法により、教養娯楽サービス費については、生活実態調査の結果をふまえ、合意形成会議での検討を経て、日帰り行楽の回数と費用、1泊以上の旅行の回数と費用、休日(余暇)の過ごし方にもとづいて算定した。

NHK受信料は、月額 1,310 円 (地上契約、消費税込)、インターネット接続料(接続機器を含む)は、 月額 3,000 円とした。

(6) 理髪料としては、**静岡市**内の理容店組合に所属している理容店の価格調査の結果にもとづいて 算定した。

静岡県では下記で算定した。

《男性》30代以上:2ヵ月に1回の利用、1回4,000円

大学生:2ヵ月に1回の利用、1回4,000円

中学生:2ヵ月に1回の利用、1回2,000円

幼 児:2ヵ月に1回の利用、1回1,000円

《女性》30代以上:3ヵ月に1回の利用、1回10,000円

高校生:2ヵ月に1回の利用、1回4,000円 小学生:3ヵ月に1回の利用、1回2,000円

(7) 交通費については、以下の生活実態調査の結果から、**静岡市内では郊外で住む場合、移動手段として自家用車もしくはバイクが必需品であるか否かを判断し、いずれも自家用車が必需品で**あるとした。

生活実態調査結果で主な通勤手段をみると、30代~40代世帯では、自家用車とバイクの利用が7割、50代世帯では、6割を占める。また、30代~50代世帯で、自家用車を「生活の必需品」とする回答が8割~9割であるため、自動車を必需品とした。なお、世帯モデルの妻がパートタイマーとして勤務している場合の通勤手段は、徒歩ないし自転車とした。

自動車の種類と保有率を年代別にみると、30代で軽自動車(660cc 以下)の保有率が49.5%、小型自動車(660超2000cc 以下)20.2%、普通自動車(2000cc 超)71.6%、40代で軽自動車の保有率が48.4%、小型自動車23.6%、普通自動車72.0%、50代で軽自動車の保有率が65.2%、小型自動車29.0%、普通自動車64.5%であったが、当該世帯モデルの状況を考慮して、30代~50代世帯モデルは普通自動車(乗用車)1台の保有とした。

自動車関係費の試算に際しては、中古乗用車を取得するものとし、購入時点の使用済み年数は7年、購入後の使用年数を6年(ただし、購入後3回目の車検直前に手放す)、普通乗用車は2000ccクラスとした。「使用済み年数を7年、使用年数を6年」としたのは、一般社団法人自動車検査登録情報協会「車種別の平均使用年数推移表」と軽自動車検査協会「軽自動車の平均使用年数推移表」によれば、普通乗用車の平均使用年数が12.53年(2015年3月末)、軽乗用車の平均使用年数が14.03年(2015年)であること、乗用車の場合、新車登録から初回車検の有効期間が3年間、2回目以降の車検有効期間が2年間であることを考慮したためである。

中古乗用車の取得価格については、インターネットの Web サイトで上記の条件を満たすと思われる 静岡市内で購入できる車の販売価格を調べた。中古車の価格は時季により多少異なる。たとえば、2・ 3月は新年度を控え需要が増加して価格が上昇、6月は夏のボーナス支給前で需要が減少し価格も低下 する。低い方から数えて概ね3割程度の価格で設定した。

自動車を購入すれば、消費税をはじめ取得税、重量税や自動車税・軽自動車税、自賠責保険料がか

かるし、車検料金などの整備費用も必要となる。整備費用については、Web サイトや自動車整備工場に対する価格調査等にもとづき算定した。自動車保険(任意保険)についても、契約内容を想定して、Web サイトの調査結果にもとづき設定した。さらに、賃貸住宅に居住して自家用車を保有する場合、通常駐車場代がかかる。生活実態調査によれば、30代~50代世帯で駐車場代を答えているものは計35世帯で、その1カ所当たりの平均駐車場代は月額4,760円であった。加えて、ガソリン代についても、生活実態調査結果をもとに自家用車1台当たりの平均月額を求めた(世帯モデルごとの自動車関係費の詳しい内容は、「4.最低生計費の試算」の(7)交通・通信費の算定を参照)。

なお、子どもの通学(園)手段と費用については、以下のように想定している。

- ・幼稚園児:親が徒歩ないし自転車で送る。
- ・小・中学生:徒歩・高校生:自転車通学

買い物など通勤・通学以外の交通費については、各世帯モデルが自動車や自転車を保有していることから、とくに計上しないこととした。

- (8)通信費については、総務省平成 26 年**「全国消費実態調査」**を用いて、2015 年 11 月時点での物価上昇率を考慮して、以下のように算定した。
- 30代~50代世帯モデルの場合、「平成26年全国消費実態調査」(二人以上世帯のうち勤労者世帯)より、世帯類型別・年間収入階級別の1世帯当たり1カ月間の通信費(全国)および静岡県の同じ世帯類型別1世帯当たり1カ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した(表7)。

表7 1世帯当たり1か月間の通信費の推計

201 1 世市ヨたソ 1 か月 間の 世 旧負り	7] 庄口						
全国(夫婦と子	全国(夫婦と子供が2人の勤労者世帯)						
	77,14	400 万円以上 500	500 万円以上 600				
世帯の年間収入階級	平均	万円未満(30代)	万円未満(40代)				
通信費(円)	18,992	17,745	18,292				
静岡県(夫婦と	子供が2人	の勤労者世帯)					
III ## oo fee BB dee 3 1844/01	77 I.A	400 万円以上 500	500 万円以上 600				
世帯の年間収入階級	平均	万円未満(推計)	万円未満 (推計)				
通信費(円)	18,899	17,658	18,202				
物価上昇率を加えた通信費(円)		17,376	17,911				
全国(夫婦と子	供が1人の	の勤労者世帯)					
世帯の年間収入階級	平均	600 万円以上 800 万円未満(50 代)					
通信費(円)	17,383	17,196					
静岡県(夫婦と	子供が1人	の勤労者世帯)					
III 4th o fee BB dea of tible day			- III IV# (I//11)				
世帯の年間収入階級	平均	600 万円以上 800 万) 円木満(推計)				
通信費(円)	通信費(円) 18,118 17,923						
物価上昇率を加えた通信費(円)		17,0	636				

- 注)世帯の年間収入階級については、前掲表7と同じ。通信費はスマートフォンや電話機などの機器代を含む。なお、2014年(年平均指数=1)に比べた通信費の物価指数を0.984として計算した。
- (9) 水道・光熱費については、総務省「平成 26(2014)年全国消費実態調査」(5年に1回の調査)を用い、2015年11月時点における「静岡県消費者物価指数」を考慮して算定した。
- 30代~50代世帯モデルの場合には、「平成26年全国消費実態調査」(二人以上世帯のうち勤労者世帯)より、世帯類型別・年間収入階級別の1世帯当たり1カ月間の光熱・水道費(全国)および静岡

県の同じ世帯類型別1世帯当たり1カ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した(表8)。

表8 1世帯当たり1か月間の光熱・水道費の推計

全国 (夫婦と子供が2人の勤労者世帯)					
##の年間向 1 昨年	平均	400 万円以上 500	500 万円以上 600		
世帯の年間収入階級	平均	万円未満(30代)	万円未満(40代)		
光熱・水道費(円)	21,070	19,374	20,173		
静岡県(夫婦と一	子供が2人	の勤労者世帯)			
##の年間切りは処	平均	400 万円以上 500	500 万円以上 600		
世帯の年間収入階級	平均	万円未満 (推計)	万円未満(推計)		
光熱・水道費(円)	20,748	19,078	19,865		
物価上昇率を加えた光熱・水道費(円)		17,742	18,474		
全国(夫婦と子	供が1人の	つ勤労者世帯)			
世帯の年間収入階級	平均	600 万円以上 800	万円未満(50代)		
光熱・水道費(円)	19,817	19,841			
静岡県(夫婦と三	子供が1人	の勤労者世帯)			
世帯の年間収入階級	平均	600 万円以上 800 万円未満(推計)			
光熱・水道費(円)	20,748	48 20,773			
物価上昇率を加えた光熱・水道費(円)		19,	319		

- 注) 30 代世帯モデルは 400~500 万円未満、40 代世帯モデルは 500~600 万円未満、50 代世帯モデルは 500~800 万円未満層で光熱・水道費を推計した。なお、2014 年(年平均指数=1) に比べた光熱・水道費の物価指数を 0.93 として計算した。
- (10) 医療費については、生活実態調査で医療費を尋ねており、30代~50代世帯モデルでは、その結果をふまえた。ちなみに、平均が30代+未婚子世帯=7,310円/月、40代+未婚子世帯=9,450円/月、50代+未婚子世帯=11,284円/月であった。

また、持ち物財調査で体重計や救急箱などの「保健医療用品」の保有の有無・数量を尋ねており、その結果を算定している。

- (11) 交際費・その他については、生活実態調査結果をふまえ、合意形成会議を経て、各世帯で以下のように算定した。
- ①親戚や友人の結婚式・お葬式・法事への参加回数と費用
- ・30代世帯モデル(結婚式1回、葬式・法事1回の年間計2回、計6万円)
- ・40代世帯モデル(結婚式1回、葬式・法事1回の年間計2回、計6万円)
- ・50 代世帯モデル (結婚式と葬式・法事で年間計3回、計5万円)
- ②親戚やお世話になった人などへのお中元やお歳暮の軒数と費用 生活実態調査結果によれば、
- ·30 代世帯モデル (**贈らない**)
- ・40 代世帯モデル(年間 2 軒、1 軒の費用 3,000 円で**計 6,000 円**)
- ・50 代世帯モデル (年間2軒、1軒の費用3,000円で計6,000円)
- ③家族・親戚などへの見舞金・せん別・お年玉の回数と費用 生活実態調査によれば、
- ・30 代世帯モデル(年間3回、計1.1万円)
- ・40 代世帯モデル (年間 4 回、計 1.9 万円)

- ・50 代世帯モデル (年間 5 回、計 2.3 万円)
- 4年宅関係費として共益費(管理費)を算定した。

生活実態調査結果によると、30 代~50 代世帯モデルの場合、住居費と同様に、静岡市郊外にある 民間賃貸住宅の管理費(月額)をインターネットの「不動産・住宅サイト」により調査したところ、 下記のとおりであった。

 $42.5 \text{ m}^2 \sim 45 \text{ m}^2$ の民間賃貸アパート・マンション(間取り $2\text{LDK} \cdot 3\text{DK}$ 、18 件で金額が記載)では、管理費の最低が 0 円、最高が 3,000 円で、過半(11 件)が 0 円であった。

 $47.5 \text{ m}^2 \sim 50 \text{ m}^2$ の民間賃貸アパート・マンション(間取り 3DK、28 件で金額が記載)では、管理費の最低が 0 円、最高が 3,000 円で、過半(23 件)が 0 円であった。

 $50 \text{ m}^2 \sim 55 \text{ m}^2$ の民間賃貸アパート・マンション(間取り 3DK、47 件で金額が記載)では、管理費の最低が 0 円、最高が 3,700 円で、過半(38 件)が 0 円であった。

他方、生活実態調査結果では、静岡市居住者で共益費を回答した者が少なく(30代世帯で17人、40代では7人、50代世帯では7人)、金額もばらついているため、上記の調査結果をもとに、すべての世帯モデルで共益費(管理費)を月額0円と設定した。

- ⑤ 忘年会や新年会、歓送迎会への参加回数と費用
 - 忘・新年会や歓送迎会(昨年)について、生活実態調査結果をみると、
- ・30 代世帯モデル(年間 5 回、1 回夫 5,000 円・妻 4,000 円の費用で計 2.3 万円)
- ・40 代世帯モデル(年間 5 回、1 回夫 5,000 円・妻 4,000 円の費用で**計 2.3 万円**)
- ・50 代世帯モデル(年間 5 回、1 回夫 5,000 円・妻 4,000 円の費用で計 2.3 万円)
- ⑥夫の労働組合費(月額)として所得(所定内給与:月額)の 1%を目安に、30 代世帯モデル **2,800** 円、40 代世帯モデル **3,200** 円、50 代世帯モデル **3,600** 円と算定した。妻・高校生(パートやアルバイト)は労働組合に加入していないと想定した。
- ⑦町内会・自治会費については、その会費は聞き取り調査から、**年額 3,000 円 (月額 250 円)** とした。 **8** その他会費として、夫婦それぞれ**年間 3,000 円** (未婚子は含まず)。
- ⑨自由裁量費(=こづかい)については、これまでの算定では計上しなかった教養娯楽費としての切り花代などやオーディオ関係など、また、飲食費としての喫茶店でのコーヒー代などをこづかいとして、一括してここに計上した。これは、持ち物財調査では保有率が分散していて7割には満たないが、個々人の趣味など、価値の多様性を考慮したものである。その額は、1人1日200円として月6,000円(幼稚園児・小学生・中学生は1人1日100円で月3,000円)とした。
- (12) 予備費として、上記の(1) \sim (10) の計(消費支出)の1割を計上した。これは、個々人の多様性を考慮したものである。たとえば、エネルギー消費量は、同じ年齢層でも身長や体重によって違いが生じるし、消費支出の内容や額も、心身の健康状態や障害の有無・程度により、人それぞれに異なるからである。

(13) 非消費支出について

各世帯モデルの非消費支出(社会保険料と税額)を算出するには、それぞれの夫の収入がわかっていなければならない(夫以外の家族構成員は、夫の扶養家族)。年代別の夫(正規従業員)の収入は、2015年の厚生労働省『賃金構造基本統計調査』(静岡県分)より、企業規模別(10~99人、100~999人)、年齢別(30~34歳、35~39歳、40~44歳、45~49歳、50~54歳、55~59歳)の一般労働者(男)の所定内給与額(2015年6月分)と賞与その他特別給与額(原則 2014年1月~12月分)の単純平均を用いる。各年代別の夫の月収・一時金・年収(2015年の収入=月収×12カ月+一時金)は、以下の通りである。

30 代の夫: 月収(所定内給与額)28 万円、一時金(賞与その他特別給与額)79 万円、年収 415 万円40 代の夫: 月収(所定内給与額)32 万円、一時金(賞与その他特別給与額)82 万円、年収 466 万円50 代の夫: 月収(所定内給与額)36 万円、一時金(賞与その他特別給与額)92 万円、年収 524 万円以上の夫の収入をもとに、社会保険料と税額を算定する。

1) 社会保険料 (年金・健康・雇用保険料)

夫以外の家族構成員は夫の扶養家族であるから、社会保険料負担が生じるのは夫と 20 歳以上の大学生(国民年金保険)である。

①年金(厚生年金と国民年金)保険料

厚生年金保険料額表 (2015 年 9 月分~2016 年 8 月分適用)より、厚生年金保険料率は 17.828% (うち労働者負担分=8.914%)で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料(年)は下記の通りである。なお、一時金(ボーナス)の保険料は、一時金額(1,000 円未満切り捨て)に保険料率を乗じた額である。また、大学生の場合、20歳になると、国民年金保険料の納入義務が生じる(ここでは、学生納付特例制度を利用しないものとし、大学生は 20歳または 21歳とする)。2015 年度国民年金保険料は月額 15.590 円である。

- 30 代世帯モデル:標準報酬月額 280,000 円、保険料(年)=24,959.2 円×12 カ月=299,510 円、一時金分の保険料(年)70,421 円、計 369,931 円
- 40 代世帯モデル:標準報酬月額 320,000 円、保険料(年)28,524.8 円×12 カ月≒342,298 円、一時金分の保険料(年)73,095 円、計 415,393 円
- 50 代世帯モデル:標準報酬月額 360,000 円、保険料(年)32,090.4 円×12 カ月 \Rightarrow 385,085 円、一時金分の保険料(年)82,009 円、大学生の国民年金保険料(年)=15,590 円×12 カ月=187,080 円、<u>計</u>654,174 円

②健康保険料

全国健康保険協会(協会けんぽ)の健康保険料額表(静岡県、2012年3月分~適用)により、健康保険料率は9.92%(うち労働者負担分=4.96%)と11.5%(40歳以上65歳未満は介護保険料を含む、労働者負担分=5.75%)で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料(年)は下記の通りである。なお、一時金(ボーナス)の保険料は、一時金額(1,000円未満切り捨て)に保険料率を乗じた額である。

- 30 代世帯モデル:標準報酬月額 280,000 円、保険料(年)=13,888 円×12 カ月=166,656 円、一時金分の保険料(年)39,184 円、計 205,840 円
- 40 代世帯モデル:標準報酬月額 320,000 円、保険料(年)=18,400 円×12 カ月=220,800 円、一時金分の保険料(年)47,150 円、計 267,950 円
- 50 代世帯モデル:標準報酬月額 360,000 円、保険料(年)20,700 円×12 カ月 = 248,400 円、一時金分の保険料(年)52,900 円、計 301,300 円

③雇用保険料

2015 年度の雇用保険料率は 1.35% (うち労働者負担分=0.5%) で、保険料は賃金総額(年収)に保険料率を乗じた額である。よって、各世帯モデルの労働者負担分の保険料は下記の通りである。

- 30代世帯モデル:保険料(年)20,750円、
- 40 代世帯モデル:保険料(年)23,300円、
- 50代世帯モデル:保険料(年)26,200円、
- ④社会保険料の合計額(年)は、下記の通りとなる。

30 代世帯モデル: 596,521 円、40 代世帯モデル: 706,643 円、50 代世帯モデル: 981,674 円(大学生の国民年金保険料を含む)

2)税(所得税·住民税)額

夫以外の世帯構成員は夫の扶養家族であるから、税(所得税と住民税)負担が生じるのは夫のみである。

①所得税

所得税額は、夫の年収(給与)から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料控除・配偶者控除 (38 万円)・扶養控除 (38 万円、特定扶養親族は 63 万円)・基礎控除 (38 万円)を差し引いた金額に

税率(5%~45%)を乗じた額から一定額(0円~4,796,000円)を差し引いた額である。ここでは、社会保険料控除・配偶者控除・扶養控除・基礎控除以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・控除対象扶養親族(16歳以上)・特定扶養親族(19歳以上 23歳未満)に該当するものとする。なお、復興特別所得税額として、基準所得額(ここでは所得税額)に2.1%の税率を乗じた額が加算される(復興特別所得税は、2013年1月1日~2037年12月31日の25年間課税、税額の計算方法は、国税庁のWebサイトによる)。各世帯モデルの所得税額と復興特別所得税額は下記の通りである。

30 代世帯モデル: 夫の年収 4,150,000 円の場合、給与所得金額は 2,780,000 円、所得控除額=社会保険料(596,521 円) + 配偶者控除(380,000 円) + 基礎控除(380,000 円)=1,356,521 円、給与所得金額 2,780,000 円 一所得控除額 1,356,521 円=1,423,479 円 =1,423,000 円 所得税額=1,423,000 円×税率 0.05=71,150 円復興特別所得税額=所得税額 71,150 円×0.021 =1,494 円、計 72,644 円

40 代世帯モデル: 夫の年収 4,660,000 円の場合、給与所得金額は 3,188,000 円、所得控除額=社会保険料(706,643 円)+ 配偶者控除(380,000 円)+基礎控除(380,000 円)=1,466,643 円、給与所得金額 3,188,000 円-所得控除額 1,466,643 円=1,721,357 円 $\stackrel{.}{=}$ 1,721,000 円 所得税額=1,721,000 円×税率 0.05=86,050 円 復興特別所得税額=所得税額 86,050 円×0.021 $\stackrel{.}{=}$ 1.807 円、計 87,857 円

50 代世帯モデル: 夫の年収 5,240,000 円の場合、給与所得金額は 3,652,000 円、所得控除額=社会保険料(981,674 円) + 配偶者控除(380,000 円) +扶養控除(380,000 円)=2,751,674 円、

給与所得金額 3,625,000 円-所得控除額 2,751,674 円=873,326 円=873,000 円 所得税額=873,000 円×税率 0.05=43,650 円 復興特別所得税額=所得税額 43,650 円×0.021=916 円、計 44,566 円

②住民税(市民税と県民税)

市民税と県民税は、均等割と所得割からなる。均等割額は所得にかかわらず一定額が課税され、静岡市の市民税額は3,500円、静岡県の県民税額は1,900円である。

所得割額(2015年度)は、前年中(2014年1月~12月)の夫の年収(給与)から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料控除・配偶者控除(33万円)・扶養控除(33万円、特定扶養親族は45万円)・基礎控除(33万円)を差し引いた金額に税率(市民税6%、県民税4%)を乗じた額から調整控除額を差し引いた額である。所得税額の算定と同様に、上記以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・控除対象扶養親族(16歳以上)・特定扶養親族(19歳以上23歳未満)に該当するものとする。なお、夫の前年の収入は、2015年と同額として算定する(税額の計算方法は、静岡市のWebサイトによる)。各世帯モデルの住民税額は下記の通りである。

30 代世帯モデル: 夫の年収 4,150,000 円の場合、給与所得金額は 2,780,000 円、所得控除額=社会保険料(596,521 円)+ 配偶者控除(330,000 円)+基礎控除(330,000 円)=1,256,521 円、

給与所得金額 2,780,000 円一所得控除額 1,256,521 円=1,523,479 円≒1,523,000 円

課税所得金額(1,523,000 円)が 200 万円以下で、所得税と市民税・県民税の人的控除の差額が 76 万円-66 万円=10 万円であるから、

市民税の調整控除額=100,000 円×0.03=3,000 円、

県民税の調整控除額=100,000 円 $\times 0.02$ =2,000 円となる。よって、

市民税の所得割額=1,523,000 円×0.06-調整控除額 3,000 円=88,380 円 =88,300 円

県民税の所得割額=1,523,000 円 \times 0.04-調整控除額 2,000 円=58,920 円 \Rightarrow 58,900 円均等割額(市民税+県民税)5,400 円、 $\frac{1}{2}$ 152,600 円

40 代世帯モデル: 夫の年収 4,660,000 円の場合、給与所得金額は 3,188,000 円、所得控除額=社会保険料 $(706.643 \, \Pi)$ + 配偶者控除 $(330.000 \, \Pi)$ + 基礎控除 $(330.000 \, \Pi)$ =1,366,643 円、

給与所得金額 3,188,000 円 − 所得控除額 1,366,643 円 = 1,821,357 円 ≒ 1,821,000 円

課税所得金額(1,821,000 円)が 200 万円以下で、所得税と市民税・県民税の人的控除の差額が 76 万 円-66 万円=10 万円であるから、上記 30 代と同様に、市民税の調整控除額 3,000 円、県民税の調整 控除額 2,000 円となる。よって、

市民税の所得割額=1,821,000 円×0.06-調整控除額 3,000 円=106,260 円 $\stackrel{.}{=}$ 106,200 円 県民税の所得割額=1,821,000 円×0.04-調整控除額 2,000 円=70,840 円 $\stackrel{.}{=}$ 70,800 円 均等割額(市民税+県民税)5,400 円、 $\frac{1}{2}$ 182,400 円

50 代世帯モデル: 夫の年収 5,240,000 円の場合、給与所得金額は 3,652,000 円、所得控除額=社会保険料(981,674 円) + 配偶者控除(330,000 円)+扶養控除(330,000 円)+450,000 円)+基礎控除(330,000 円)=2,421,674 円、

給与所得金額 3,652,000 円-所得控除額 2,421,674 円=1,230,326 円 $\stackrel{.}{=}$ 1,230,000 円 課税所得金額(1,230,000 円)が 200 万円以下で、所得税と市民税・県民税の人的控除の差額が 177 万円-144 万円=33 万円であるから、

市民税の調整控除額=330,000 円×0.03=9,900 円、

県民税の調整控除額=330,000 円×0.02=6,600 円となる。よって、

市民税の所得割額=1,230,000 円×0.06-調整控除額 9,900 円=63,900 円

県民税の所得割額=1,230,000 円×0.04-調整控除額 6,600 円=42,600 円

均等割額(市民税+県民税)5,400円、計111,900円

③税(所得税と住民税)の合計額(年)は、下記の通りとなる。

30 代世帯モデル: **225,244** 円 40 代世帯モデル: **270,257** 円 50 代世帯モデル: **156,466** 円

2015 年静岡県最低生計費試算調査結果総括表

	静岡市	静岡市	静岡市
	30 代夫婦と	40 代夫婦と	50 代夫婦と
生計費結果	子ども2人	子ども2人	子ども2人
	(幼児	(中学生	(大学生
	小学生)	·小学生)	·高校生)
居住面積(賃貸)	$40~{ m m}^{\circ}$	47.5 m ²	50 m ²
A消費支出 (1~10)	365,108	402,750	518,641
1 食費	100,787	113,089	87,597
2 住居費	51,000	53,000	55,000
3 光熱・水道	17,742	18,474	19,319
4 家具・家事用品	13,142	13,947	16,603
5 被服・履物	11,317	16,736	23,754
6 保健医療	7,396	9,544	11,370
7 交通・通信	60,503	62,995	58,100
8 教育	26,986	37,486	73,458

9 教養娯楽	27,610	26,408	25,994
10 その他	48,625	51,071	51,263
11 仕送り	0	0	96,183
B非消費支出	68,480	81,408	94,845
C予備費	36,500	40,200	51,800
最低生計費(税抜き)A+C	401,608	442,950	570,441
D同上(税込み)A+B+C	470,088	524,358	665,286
同上(税込み)D×12	5,641,056	6,292,296	7,983,432

4. 最低生計費の試算

4-1 30代世帯モデルの最低生計費

(1)食料費の算定

30 代世帯モデル(30 代の夫婦・小学生と幼稚園児の4 人家族)における子どもの設定は、小学生は $8\sim9$ 歳(女性)、幼稚園児は $3\sim5$ 歳(男性)として算定する。

すべて家で食事した(弁当持参を含む)と仮定すれば、家族 4 人の 1 カ月の食費は(946.83 円+775.72 円+685.51 円+517.06 円) $\times 30$ 日 $\Rightarrow 87,754$ 円となる。

30 代世帯の生活実態調査結果によると、朝食は「家でしっかり食べる」(70.6%)が最も多く、次いで「家で牛乳やコーヒーなどですます」(12.8%)であり、夕食についても「家で家族と食べる」(93.6%)、「家で一人で食べる」(6.4%)という結果であったので、家族 4 人とも朝食と夕食は家で食べるものとした。

昼食については、「職場の給食を食べる」(32.1%)が最も多く、次いで「家から弁当持参」(31.2%)、「弁当やパンなどを買って職場で食べる」(14.7%)と続いていた。したがって、夫については、職場の給食を利用するものとし(1食あたり400円)、妻については、専業主婦またはパートという設定から家で食べる(弁当持参を含む)ものとした。小学生と幼稚園児については、静岡市立の小学校および市内の私立幼稚園に通っているという設定から、給食実施日の昼食は学校ないし園で給食とし、それ以外は家で食べるものとした。小学校と幼稚園の給食のエネルギー量と費用は表5の通りとする。

仕事の後や休日にお酒やお茶を飲んだり会食したり(以下、会食)する回数について、生活実態調査結果では、回答の多い順に、「ほとんどない」(59.6%)、「月に $1\sim2$ 回程度」(37.6%)、「月に $3\sim4$ 回程度」(0.9%)、「週に $1\sim2$ 回程度」(0.9%)となっており、会食 1 回の平均費用は約 4,992 円(最頻値は 5,000 円)であった。月に 1 回以上の回答が 4 割を超えるが、ほとんど会食しない回答も約 6 割あることから、夫が月に 1 回、妻が月に 2 回の会食をするものとし、1 回の費用を、夫は 3,000 円、妻は 1,500 円とした。小学生と幼稚園児の会食は、月に 1 回で費用は 1,000 円とした。会食の内容とエネルギー量は「3. 算定の方法」の(1) の表 6 による。

以上に述べた朝食・昼食・夕食の取り方と外食(コンビニ弁当・学校および園給食・会食)のエネルギー量・回数・費用をもとに、各家族構成員の1カ月の食料費を算出した。

①夫(30代男性)

家での食事 63,083 kcal 22,539 円(946.83 円×63,083kcal÷2,650kcal)

昼食(給食) 14,860 kcal 8,000 円 (1食 743 kcal で 400 円、20 食分)

会食 (1回) 1.557 kcal 3.000 円

廃棄分(5%) 3,154kcal 1,127 円(946.83 円×3,154kcal÷2,650kcal)

合計 82,654 kcal 34,666 円

注 1)「家での食事」のエネルギー量は、1カ月のエネルギー必要量(30代男性は79,500kcal)から昼食(外食や給食)と会食分を減じたもの。以下、②~④まで同様。

2)廃棄分(5%)は、「家での食事」のエネルギー量の5%のこと。以下、②~④まで同様。

3) () 内の食料費の計算方法は、数値が異なるだけで②~④まで同様のため、以下では省略。

②妻 (30代女性)

家での食事	57,770	kcal	22,407	円
会食 (2回)	2,230	kcal	3,000	円
廃棄分(5%)	2,889	kcal	1,121	円
合計	62,889	kcal	26,528	円
③小学性(8~9	歳女性)			
家での食事	40,506	kcal	16,334	円
昼食(給食)	9,642	kcal	3,797	円
会食(1回)	852	kcal	1,000	円
廃棄分(5%)	2,025	kcal	817	円
合計	53,025	kcal	21,948	円
④幼稚園児(3~	~5 歳男性)			
家での食事	31,715	kcal	12,614	円
昼食(給食)	6,583	kcal	3,400	円
会食(1回)	702	kcal	1,000	円
廃棄分(5%)	1,586	kcal	631	円
合計	40,586	kcal	17,645	円

卸小学校給食
年間 178 日
月額 3,797 円、1 食 650kcal
年間 650×178=115,700kcal
月平均 115,700÷12≒9,642kcal

⊕幼稚園給食
年間 158 日
月額 3,400 円、1 食 500kcal
年間 500×158=79,000kcal
月平均 79,000÷12≒6,583kcal

1カ月の食料費(4人計)

100,787 円

(2) 住居費の算定

「3. 算定の方法」の(3)で述べたように、民間賃貸住宅(42.5~45 ㎡、間取り 2LDK・3DK)の家賃の大半は月額5万円台~6万円台で、最低が築28年で4.8万円、最高が築17年で8.2万円であった。他方、生活実態調査(静岡市在住の30代世帯)で家賃を回答した者は5人おり、金額は最高の8.9万円から最低の5.7万円までバラついている(平均は約7.4万円)。更新料の回答者は1人で、金額は0円となっている。以上の点から、ここでは、築年数も考慮して、家賃(2LDKで45 ㎡、築30年)を月額51,000円と想定し、若年単身世帯モデルと同様に更新料はないものとした。

家賃 月 51,000円(共益費は、「交際費・その他」の項目で計上)

更新料 0円

合計 51,000円

(3) 光熱・水道費の算定

30代家族の光熱・水道費は、「3. 算定の方法」の(9)の表8より、月額 17,742 円と推計した。

(4) 家具・家事用品費の算定

家具・家事用品費については、「3. 算定の方法」の(1)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・ 使用年数・消費量等を算定した。

1) 設備機器・家事用耐久財及び冷暖房機器

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
温水洗浄便座	18,036	6	1	251	
電子・ガスレンジ	18,144	6	1	252	
自動炊飯器	8,078	6	1	112	5.5 合、 I H
電気冷蔵庫	69,984	6	1	972	500L
電気掃除機	7,538	6	1	105	
電気洗濯機	64,584	6	1	897	全自動7 kg
ガステーブル	16,956	6	1	236	2 □

トースター	2,127	6	1	30	
電気アイロン	1,911	6	1	27	
電気ポット	7,538	6	1	105	ケトル、1L
ホットプレート	2,667	6	1	37	
ルームエアコン	58,800	6	2	1,633	木造 6 畳まで 2.2KW
ホットカーペット	17,800	6	1	247	
扇風機	6,458	6	1	90	45W 位
小 計				4,994	

注1)価格は消費税抜きで、単位は円。

2)各品目の月価格の合計金額と小計の金額は、端数処理のため必ずしも一致しない。以下同様。

2) 居間・寝室用家具及び室内装備品、寝具類

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
整理ダンス (作り付け除く)	15,649	15	1	87	4 段チェスト(83×41×88)
カラーボックス (ラック)	835	3	2	46	3段タイプ
ソファー	19,900	8	1	207	
食器戸棚	4,753	15	1	26	
洋式食卓セット (椅子含む)	27,688	15	1	154	4人掛け
掛(柱)時計	925	8	1	10	
目覚まし時計	648	8	1	7	
蛍光灯の傘(照明器具)	6,480	8	3	203	1灯、LED
カーテン	3,980	3	3	332	
敷き布団	8,000	4	4	ccc	シングル。調査結果では、
放き作品	8,000	4	4	666	消費量は2だが、4とした。
掛け布団	10.000	4	4 666 4 1,650	1.050	シングル。調査結果では、
和 () 4[1]	19,800	4		1,650	消費量は3だが、4とした。
タオルケット	3,700	2	4	616	調査結果では、消費量は3
	3,700	2	4	010	だが、4とした。
毛布	2,980	3	4	332	同上
シーツ	1,440	2	4	240	同上
まくら	1,000	3	4	112	同上
布団カバー	1,480	2	4	246	同上
まくらカバー	600	2	4	100	同上
小計				5,034	

3) 家事雜貨

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
ごはん茶わん	320	2	4	53	
湯飲み茶碗	288	2	4	48	
どんぶり	428	2	2	36	
コーヒー(ティー)カップ	437	2	2	36	
マグカップ	214	2	2	18	
盛り皿・盛りばち (洋)	428	2	3	54	
スープ皿	428	2	2	36	
パン・ケーキ皿	216	2	3	27	
グラタン皿	324	2	2	27	

コップ	201	2	5	42	ガラス製
スプーン	137	5	4	9	
フォーク	137	5	4	9	
ナイフ	536	5	2	18	
水筒	2,127	5	2	71	
きゅうす	644	2	1	27	
砂糖入れ	320	5	1	5	2個セット
しょうゆ差し	428	5	1	7	
弁当箱(ランチャー)	2,667	5	2	89	
タッパー	246	5	4	16	
盆	860	5	1	14	
大なべ	1,911	5	1	32	20~22 cm
中なべ	753	5	1	13	両手持ち蓋あり
小なべ	753	5	1	13	16∼18 cm
フライパン	753	5	1	13	
やかん	1,058	5	1	18	2.5L
米びつ (ハイザー)	5,367	5	1	89	10 kg∼12 kg
水切りかご・ざる	1,263	4	1	26	直径 21 センチ
ボール	320	5	2	11	
台所用はかり	752	5	1	13	
包丁・ナイフ	968	5	2	32	包丁
まな板	428	5	1	7	
たわし	104	1	1	9	スポンジタイプ
おろし器	245	5	1	4	
はし・菜ばし	320	5	4	21	はし。調査結果では、消費量は3 だが、4 とした。
しゃもじ	245	5	1	4	
ふきん	321	1	3	80	3枚入り
フライ返し	105	5	1	2	
泡立て器	1,047	5	1	17	
物干しざお	1,587	5	1	26	2.2m~4m に伸縮
ポリバケツ・ゴミ入れ	1,263	5	1	21	ポリバケツ形
くずかご	428	5	1	7	
洗濯用バケツ・かご	493	5	1	8	
タオル	428	1	9	321	
バスタオル	644	1	4	215	
電球(非 LED)	212	1	2	35	60W 最低値は2個入り
電球(LED)	698	8	1	7	
蛍光灯(非 LED)	959	3	4	53	30 形と 32 形の 2 本セット
蛍光灯(LED)	6,447	12	1	45	
裁縫箱	2,667	5	1	44	
アイロン台	1,076	5	1	18	
ドライバー	320	15	1	2	セット
空気入れ	860	5	1	14	
懐中電灯	265	5	1	4	
傘立て	860	5	1	14	

バスマット	709	2	1	30	
洗面器	212	5	1	4	
小 計				1,915	

4) 家事用消耗品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
ポリ袋	128	-	月4袋	51	45L×10(可燃・不燃用)
ラップ	142	-	月1箱	142	
ティッシュペーパー (箱)	245	-	月2箱	98	5 箱
トイレットペーパー	320	-	月5個	133	12 ロール
台所洗剤	135	-	月1本	135	
トイレ用洗剤	147	-	月1本	147	
洗濯用洗剤	297	-	月1本	297	
住宅用洗剤	147		月1本	147	
漂白剤	93	-	月1本	93	600 mℓ
小計				1,243	

合計 13,186 円

(5)被服及び履物費の算定

被服及び履物費については、「3. 算定の方法」の(1)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

1)被服・履物(男性)

1 / 次/ 次 / 次 (フノ 工/					
品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
背広※	19,000	4	2	792	夏物除く
礼服※	33,000	5	1	550	
ジャケット(替上着)※	3,000	4	1	63	ダウンジャケット(スーツにも対応)
替ズボン (ジーンズ含む)	3,990	4	4	229	大人用 2、幼児用 2
ズボン・Gパン(幼児用)	1500	4	4		八八用 4、列尼用 4
半ズボン	750	2	2	72	大人用 1、幼児用 1
ショートパンツ (幼児用)	972	<u> </u>		14	八八用 1、列范用 1
パーカー	3,990	2	2	249	大人用 1、幼児用 1
同上(幼児用)	1990	<u> </u>	4	<u>44</u> 3	八八/// 1、 <i>列</i> //L/// 1
ワイシャツ	1,290	2	3	161	
長袖シャツ	990	2	3	124	
半袖シャツ	990	2	4	165	
ポロシャツ	1,990	2	2	166	単身者と同じ
セーター・カーディガン	2,990	3	2	138	大人用 1、幼児用 1
同上(幼児用)	1990	ن 		199	八八用 1、列冗用 1
シャツ (合・冬)	1,990	1	3	381	肌着 (ヒートテック)、大人用 2、
同上(幼児用)	590	1		901	幼児用 1
シャツ (夏)	1,990	1	9	201	肌着、大人用 2、幼児用 1、冬と同
同上(幼児用)	590	1	3	381	じ
Tシャツ	1,500	2		940	大人用 2、幼児用 3
同上(幼児用)	990		5	249	八八用 2、列冗用 3
ジャージ	3,990	2	1	166	大人用

トレーナー	3,990		0	900	大人用 1、幼児用 1		
同上 (幼児用)	990	2	2	208			
パンツ・ブリーフ	990	1	-	202	大人用 3、幼児用 2		
パンツ(幼児用)	330	1	5	303	人人用 3、幼先用 2		
パジャマ (夏)	2,000	2	1	83			
パジャマ (冬)	2,000	2	1	83			
サンダル	690	2	1	29	単身者と同じ		
靴※	7,900	2	3	988	単身者と同じ		
運動靴・スニーカー	990	0	0	100	大人用 1、幼児用 1(19cm)		
同上(幼児用)	1480	$\frac{1}{2}$	2	103	八八用 1、列元用 1 (19cm)		
靴下	390	0		7.0	大人用 3、幼児用 3、幼児用の価格		
同上 (幼児用)	590	$\frac{1}{2}$	6	73	は3足セット		
手袋	990	1	1	83			
ネクタイ※	4,800	2	3	600	単身者と同じ		
マフラー	1,500	2	1	63			
バンド・ベルト	2,990	2	2	249			
小 計				6,751			

注)品目名に※印のついた物は、標準価格で算定した。以下同様。

2)被服・履物(女性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
フォーマルドレス※	63,000	5	1	1,050	葬式用
ワンピース※	6,900	4	2	288	冬物
ジャケット※	5,900	4	1	123	スーツのような形
スカート	1,990	0	0	100	十19 小学生1
同上 (小学生用)	990	3	3	138	大人 2、小学生 1
スラックス	3,990	4	0	114	ジーンズ含む。
ズボン・Gパン(小学生用)	1,500	$\mid 4 \mid$	2	114	フークへ占む。
ジャンパー	3,990	4	9	1 4 5	ジャケットブルゾン、大人用 1、
同上 (小学生用)	2,990	$\frac{1}{4}$	2	145	小学生用 1
ブラウス	1,290	3	2	72	
Tシャツ・ポロシャツ	790	0	4	148	Tシャツ、大人用 2、小学生用 2
同上 (小学生用)	990	$\frac{1}{2}$			1 シャノ、人人用 2、小子生用 2
長袖・半袖シャツ	1,290	2	4	215	
セーター・カーディガン	1,990	3	3	166	大人用 2、小学生用 1
同上 (小学生用)	1,990	3	0	100	大八角 2、小子生角 1
パンティー	500	1	10	346	調査結果では消費量は5だが、50
パンツ (小学生用)	330	1	10	340	代にそろえて 10 とした。
ブラジャー	1,990	2	3	249	
シャツ(肌着)	990	1	3	214	大人用 2、小学生用 1、
同上 (小学生用)	590	1	o 	<u> </u>	八八元 2、八子王元 1、
ジャージ	1,500	2	1	63	小学生用 1
サンダル	690	2	1	29	単身者と同じ
靴・ブーツ※	2,990	2	3	374	ロングブーツ。調査結果では2だ

					が、3とした。
運動靴・スニーカー	990	2	2	83	大人用 1、小学生用(22cm)1
同上(小学生用)	990	_	_	00) () () () () () () () () () (
パンティストッキング	284	1	3	71	単身者と同じ
ソックス	350	2	6	68	大人用 3、小学生用 3、小学生用
同上 (小学生用)	590	2	O	00	の価格は3足セット
手袋	990	1	1	83	
ベルト	1,069	2	2	89	単身者と同じ
小 計				4,128	

3) クリーニング代

背広 (2)・フォーマルドレス (1)・ワンピース (2) の計 5 着分のクリーニング代 (1 着 1,050 円) を想定した。

1,050 円×5 着÷12 ヵ月=月額 438 円

合計 11,317 円

(6) 保健医療費の算定

生活実態調査の結果によれば、30代世帯の平均医療費は月額7,310円であった。

保健医療用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
体重計	1,008	6	1	14	
救急箱・救急セット	4,320	5	1	72	ケース+薬
小計				86	

合計 7,310 円 +86 円 = 7,396 円

(7) 交通・通信費の算定

交通費の算定は、「3. 算定の方法」の(7)で述べたように、夫の通勤は自家用車を利用するものとした。

また、30 代世帯モデルでは普通自動車 1 台(2,000cc クラス、使用済み年数を 7 年、使用年数を 6 年)の所有を想定したので、その費用を下記のように算定した。

1) 自動車関係費:普通乗用車(30代世帯モデル)

費目	金額(円)	備考	6年間の 金額(円)	1カ月当た りの額 (円)
車両価格(車検基本料込み)	880,000		880,000	12,222
税・保険料(①~⑥)の計	226,620		875,720	12,162
①消費税(8%、取得時)	70,400		70,400	_
②取得税(3%、取得時)	26,400		26,400	_
③自動車税(毎年)	39,500		237,000	_
④重量税(1年分)	16,400	2 年分 32,800 円の 1/2	98,400	_
⑤自賠責保険料(1年分)	13,920	2 年分 27,840 円の 1/2	83,520	—
⑥任意保険料(年額)	60,000	夫婦2名を対象	360,000	_
整備費用(⑦~⑪) の計	·		209,604	2,911

⑦車検(2年ごと)	18,500	6年間で2回	37,000	_	
⑧上記の消費税(8%)	1,480	同上	2,960	_	
⑨印紙代	1,700	同上	3,400	_	
⑩部品・消耗品の交換費用	*詳細は別表を	を参照 こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	153,930	_	
⑪上記の消費税(8%)	消費税(8%)				
駐車場代 (月額)	4,760		_	4,760	
ガソリン代(月額)	9,729		_	9,729	
合 計				41,784	

注 1)7 年落ち(2009 年に初回登録、7.4 万km走行)の中古普通乗用車(ミニバン)(2,000cc) を購入後 6 年使用する(車検直前に手放す)。

2)Web サイトで条件に合った中古車は37台で、価格(消費税と車検基本料金込み)の最低が49.0万円、最高が174万円、平均が111万円、安い方から10台目の価格は約88万円(消費税抜き)。2016年11月調査。

- 3)消費税率は8%で不変とした。
- 4)任意保険の契約内容は、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額=車対車免ゼロ、搭乗者傷害=1,000万円で16等級とした。
 - 5)車検と印紙代については、Web サイトで調べた最低価格を採用した。2016年11月調査。
- 6)ガソリン代については、生活実態調査(30代世帯)より、自家用車を保有している世帯(バイクを保有している世帯を除く、集計数91)の自家用車1台当たりの月平均額を求めた。

部品・消耗品の交換費用

費	交換時期	部品代	工賃	交換回	6年間の
[其 □	久1英时期	(円)	(円)	数/6 年	金額 (円)
エンジンオイル 3L	10,000 kmごと	3,150	0	5	15,750
オイルフィルター	10,000 kmごと	1,050	1,050	5	10,500
バッテリー交換	4年間に1回	6,300	0	2	12,600
冷却水交換 4L	10 万kmごと	5,040	2,100	1	7,140
スパークプラグ	5 万kmごと	1,050	2,520	2	7,140
エアコン・フィルタ取替	1回	4,200	2,100	1	6,300
タイヤ交換 4本	4万kmごと	12,600	4,200	2	33,600
ブレーキフルード	車検時	2,100	2,100	2	8,400
フロントブレーキパッド	40,000 kmごと	8,400	4,200	2	25,200
リアブレーキシュー	40,000 kmごと	3,150	6,300	2	18,900
ワイパーブレードラバー	年1回	1,680	0	5	8,400
合 計					153,930

- 注 1)部品・消耗品の交換費用については、整備工場 2 社に問い合わせて設定した。2016 年 6 月調査。
 - 2) 部品交換時に12カ月点検を含むものとした。
 - 3)購入後6年間の走行距離を58,374kmとし、以下のようにして算定した。

上表(自動車関係費)の月額平均ガソリン代(9,729 円)を 2016 年 11 月時点のガソリン価格(132 円/ ℓ ℓ)で除したものに、燃費(普通乗用車:11km/ ℓ ℓ)を乗じ、それを 12 倍することによって 1 年間の走行距離(9,729km)を算定し、これを 6 倍した。

1カ月分の自動車関係費 41,784円 (消費税込)

2) 交通用具

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
自転車 (大人用)	11,700	2	2	1,284	調査結果では消費量は1だが、

同上 (小学生用)	19,116				40 代以上とそろえて 2 とした。
ヘルメット	2,127	3	1	59	小学生用、使用年数は、スポーツ器具とみなして3年。
小 計				1,343	

30 代世帯モデルの通信費は、「3. 算定の方法」の(8)の表 7 より、月額 **17,376** 円と推計した。 合計 41,784 円+1,343 円+17,376 円=**60,503** 円

(8) 教育費の算定

幼稚園児(私立、 $3\sim5$ 歳児)と小学生(公立、 $3\cdot4$ 年)の教育費については、「3. 算定の方法」の(4)で述べた方法により試算した。結果は、下表のとおりである。

1) 幼稚園児の教育費(年額、円)

工 / 小山區四 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /	1 4/			
	3 歳	4 歳	5 歳	1年当たりの
項目	支出率	支出率	支出率	支出者平均額
学習費総額		i 		298,333
学校教育費 小計		 		286,333
授業料	100.0	100.0	100.0	209,000
PTA会費	74.9	75.6	74.9	5,000
その他の学校納付金	100.0	98.4	92.9	41,000
学用品・実験実習材料費	92.5	84.8	83.3	15,000
制服	65.1	32.7	23.5	6,333
その他	92.8	88.5	90.6	10,000
学校外活動費 小計		 		12,000
図書費	71.4	69.3	71.0	12,000

注 1)「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。

- 2)制服の支出者平均額は3歳児の額の1/3とした。
- 3)かばん・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外
- 4)学習机・いす・本棚・補助学習用のパソコン等の物品費は、家具・家事用品、教養娯楽費で計上したので除外

5)図書費とは、参考書・問題集・辞書・百科事典・学習用パソコンソフト等の購入費 小計 298,333 円÷12 カ月≒24,861 円 (月額)

2) 小学生の教育費(年額、円)

= / 1 1 = / MIX (PM	,				
	第3学年		第4学年		1 学年当たりの
項目	支出率	支出者平均額	支出率	支出者平均額	支出者平均額
学校教育費 計		26,000		25,000	25,500
修学旅行・遠足・見学費	83.1	2,000	89.1	3,000	2,500
PTA会費	99.0	3,000	99.3	3,000	3,000
その他の学校納付金	84.2	2,000	79.3	2,000	2,000
学用品・実験実習材料費	99.9	16,000	99.8	14,000	15,000
その他	82.4	3,000	85.4	3,000	3,000

注 1)「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。

2)ランドセル・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外

小計 25,500 円÷12 カ月=2,125 円(月額)

合計 24,861 円+2,125 円=**26,986 円** (消費税込)

(9) 教養娯楽費の算定

1) 教養娯楽用耐久財・書籍・他の刊行物・教養娯楽用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
カラーテレビ	117,480	5	1	1,958	
ビデオ・HDD レコーダー	34,800	5	1	580	HDD
カメラ・デジカメ	10,000	5	1	167	デジカメ
ビデオカメラ	35,300	5	1	588	
プリンター	4,780	5	1	80	
パソコン (ノート)	77,800	4	1	1,621	
単行本・文庫本	750	-	月1冊	750	
水着 (男性用)	1,799	0	0	197	調査結果では、消費量は1だが、
同上(幼児用)	1,500	2	2	137	2 とした。大人用 1、幼児用 1
水着(女性用)	4,212	2	2	238	調査結果では、消費量は1だが、
同上 (小学生用)	1,500	4	2	238	2 とした。大人用 1、小学生用 1
テレビゲーム機	29,980	5	1	500	ニンテンドー3DS、アダプター 付き
ゲームソフト	1,980	3	5	275	
USBメモリ	880	2	2	73	16GB
小 計				6,967	

2) 教養娯楽サービス費の算定は、下記の通り。

①日帰り行楽について

30 代世帯の生活実態調査結果では、月に1回が最も多く(41.3%)、ついで0回(37.6%)、 $2\sim4$ 回が計 20.2%、1回の費用は平均8,413円であった。この結果をふまえて、家族で1ヵ月に1回(年12回)、1回あたりの費用は5,000円で年に60,000円とした(月あたり費用5,000円)。

②1 泊以上の旅行について

生活実態調査結果では、年に1回が最も多く(40.4%)、ついで0回(30.3%)、2回(18.3%)となっており、1回の費用は平均49,532円であった。この結果をふまえて、家族で年に1回、1回あたりの費用は40,000円で、年に40,000円とした(月あたり費用3,333円)。

③休日(余暇)の過ごし方について

生活実態調査結果(3つまでの回答)では、「家事や育児」がもっとも多く(77.1%)、ついで「自宅で休養」(64.2%)、「ショッピング」(45.0%)、「日帰りの行楽」(39.4%)、「スポーツなど体力づくり」(12.8%)、「友人・知人との交際」(10.1%)、「平和運動などの社会活動」(6.4%)、「特に何もしない」(5.5%)と続いている(5%未満の回答項目は省略)。「ショッピング」以外に、「日帰り行楽」や「スポーツなど体力づくり」、「友人・知人との交際」、「社会活動」に一定の回答があることを考慮して、1ヵ月に1回は、ショッピング等を行っていると想定し、1回あたりの費用は8,000円を計上する(月あたり費用8,000円)。

小計 5,000 円+3,333 円+8,000 円=月額 16,333 円

3) NHK受信料+インターネット接続料=1,310 円+3,000 円=月額 **4,310 円合計** 6,967 円+16,333 円+4,310 円**=27,610** 円

(10) その他の消費支出の算定

1) 理美容用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
ヘアドライヤー	1,780	6	1	25	

歯ブラシ	98	-	4	392	調査結果では、消費量は3だが、 4とした。
ヘアブラシ	243	3	1	7	女性用
カミソリ	518	-	月1本	43	男性用(ホルダー+替え刃 13 個)
カミソリ	149	-	月1本	50	女性用(3個)
石鹸	98	-	月1個	98	固形石鹸
化粧石鹸	305	-	月1本	305	洗顔用石鹸、チューブ
シャンプー	255	-	月1本	255	詰め替え用
リンス・コンディショナー	255	-	月1本	255	詰め替え用
ボディーシャンプー	138	-	月1本	138	詰め替え用
歯磨き	98	-	月1本	98	
化粧クリーム	2,700	-	月1本	2,700	
化粧水	2,116	-	月1本	2,116	
乳液	2,300	-	月1本	2,300	
ファンデーション	864	-	月1本	864	
口紅	972	-	月1本	972	
小 計				10,618	

2) 理美容サービス費

30 代世帯モデル (4 人) の家族構成は、30 代夫婦と小学生 (女性)・幼児 (男性) だから、(3. 算定の方法」の (9) の 2) より、下記のように算定した。

 $(4,000 円+1,000 円) \div 2 カ月+ (10,000 円+2,000 円) \div 3 カ月=6,500 円 (月額)$

3) 身の回り用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
傘	1,600 (1,000)	2	4	157	大人男性用 1、大人女性
同上(幼児・小学生用)	580		_		用 1、子ども用 2
雨がっぱ	3,900	4	2	112	大人用 1、小学生用 1
同上(幼児・小学生用)	1,480	4	4	114	八八用工、小子工用工
旅行用かばん・スーツケース	5,000	5	1	83	男性用 1
ショルダーバッグ (女性)	5,500	5	1	92	
ハンドバッグ	2,480 (3,900)	5	2	106	男性用 1、女性用 1
ショッピングバッグ	2,100	5	1	35	
リュックサック・デイバッグ	3,229	- 5	2	87	大人男性用 1、小学生用
同上(幼児・小学生用)	1,980	O O	2	01	1
			1	306	使用年数は「基準」では
ランドセル	22,000	6			5年だが、実態に合わせ
					て6年とした。
財布※	5,000(9,000)	5	2	233	男性用 1、女性用 1
腕時計(男性用)※	14,000	10	1	117	
腕時計(女性用)※	18,000	10	1	150	
帽子 (男性用)	1,620				調査結果では消費量は
同上 (女性用)	1,900	- - 1	4	457	3だが、4とした。大人
同上 (小学生用、女)	980		4	457	男性用1、大人女性用1、
同上(幼児用、男)	980				小学生用 1、幼児用 1

ハンカチ	324	1	7	189	
小 計				2,124	消費税込

注)()外の価格は男性用、()内が女性用。

4) 交際費・その他

「3. 算定の方法」の(10)で計算したように、下記の通りである。

①結婚式やお葬式・法事

年 2 回(結婚式=2 回、葬式・法事=0 回)参加、1 回の費用 30,000 円として計 60,000 円

②お中元やお歳暮

贈らないと想定した。

③見舞金、せん別、お年玉

年間 3 回として計 11,000 円(見舞金+せん別 5,000 円、お年玉+贈り物 3,000 円×2=6,000 円)

- ④賃貸住宅の共益費(管理費)は、月0円とした。
- ⑤忘年会や新年会、歓送迎会

年間5回、夫3回で1回5,000円、妻2回で1回4.000円として計23,000円

- ⑥労働組合費は、月 2,800 円を想定(年間 33,600 円)
- ⑦町内会・自治会費:年額3,000円(月250円)
- ⑧その他会費として、夫婦で年間 3,000 円×2 人=6,000 円を想定

小計 (60,000 円+11,000 円+23,000 円+33,600 円+3,000 円+6,000 円)÷12 カ月 \Rightarrow **11,383** 円 (月額)

5) 自由裁量費

「3. 算定の方法」の(10)の⑨で述べたように、夫婦は各々月 6,000 円、幼児・小学生は各々月 3,000 円だから、

小計 6,000 円×2 人+3,000 円×2 人=18,000 円(月額)

合計 10,618 円 + 6,500 円 + 2,124 円 + 11,383 円 + 18,000 円 = **48,477 円** (消費税込)

(11) 非消費支出

「3. 算定の方法」の(12)より、

(596,521 円(社会保険料)+225,244 円(所得税・住民税)) $\div 12$ カ月 $\div 68,480$ 円(月額)

(12) 予備費

「3. 算定の方法」の(11)で述べたように、予備費は、消費支出の1割である。

(まとめ)

以上の試算結果が示す30世帯モデルはこんな生活内容である。

食費は1日平均4人で3,300円ほど(子どもの給食費含む)。父親が飲み会に行けるのは月に1回程度(費用は3,500円)。母親の女子会もやはり月に1回程度(費用は1,500円)。家賃は51,000円(2LDK)のアパートに居住。中古の普通自動車1台を所有(維持費含め1ヵ月約41,000円)し、買い物や子どもの送り迎え、時々の遠出などにも利用する。花見や海水浴など日帰り行楽は1ヵ月に1回(1回5,000円)、それ以外にショッピングや趣味やスポーツなどの活動にも1ヵ月に1回出かけている(4人で1回8,000円)。

室内にエアコンは2台あるが、テレビは1台、小学生の学習机など家電や家具、食器類は最低限必要なもののみを持つ。夫は勤務先に背広2枚を4年間着回して通い、子どもも運動靴を2年履き続けるなど全体として慎ましい生活をしている。最も大きな支出は、私立幼稚園に通わせる費用で年に約30万円(月額約25,000円)ほど。年に1度は夫婦の里帰りなど一泊以上の家族旅行(1回の費用40,000円)をするが、休日の過ごし方は「家事や育児」、「自宅で休養」が圧倒的である。その他、人付き合いとして、結婚式や葬式・法事は年2回、忘新年会や歓送迎会は年5回出ている。こづかいは夫婦そ

30	代世帯モ	デルセ	景低 生調	十 書 絵	括表
UU		, ,,,			104X

			1	1	ſ	
	静岡県	愛知県	北海道	新潟県	静岡県	首都圏
地域	静岡市	名古屋市	札幌市	新潟市	静岡市	さいたま
	17 mj 113	10 IZ II	4.0 13C 111	本/ / / / / / 1	HT IMI 111	市
調査年	2015 年	2015 年	2016 年	2015 年	2010 年	2008 年
神	調査	調査	調査	調査	調査	調査
		30 代男性			35 歳男性	
京佐掛け		30 代女性			33 歳女性	
家族構成		小学生			9 歳女性	
		幼稚園児				
居住面積(賃貸)		$42.5~\mathrm{m}^{\!\!\!1}$			40 m ²	
A 消費支出 (1~10)	365,108	374,200	360,176	330,939	314,946	329,277
1 食料	100,787	101,184	103,431	80,805	75,576	92,708
2 住居	51,000	52,000	45,000	50,000	57,000	61,459
3 光熱・水道	17,742	19,961	18,088	21,016	20,394	17,147
4 家具・家事用品	13,142	14,858	12,788	8,717	5,448	11,356
5 被服・履物	11,317	16,981	17,070	11,901	18,726	22,003
6 保健医療	7,396	9,593	7,687	12,119	13,294	9,779
7 交通・通信	60,503	59,447	54,688	60,449	46,423	28,153
8 教育	26,986	26,986	26,986	15,333	11,261	14,167
9 教養娯楽	27,610	27,445	31,382	29,883	26,061	30,201
10 その他	48,625	45,745	42,993	40,716	40,763	42,304
B 非消費支出	68,480	68,756	64,671	62,815	61,204	72,967
C 予備費	36,500	37,400	36,000	33,000	31,495	33,000
最低生計費(税抜き)A+C	401,608	411,600	396,176	363,939	346,441	362,277
D 同上 (税込み) A+B+C	470,088	480,356	460,847	426,754	407,645	435,244
同上(税込み)年額 D×12	5,641,056	5,764,272	5,530,164	5,121,048	4,891,738	5,222,928

4-2 40代世帯モデルの最低生計費

(1)食料費の算定

40 代世帯モデル(40 代の夫婦・中学生と小学生の 4 人家族)における子どもの設定は、中学生は $12\sim14$ 歳(男性)、小学生は $8\sim9$ 歳(女性)として算定する。

すべて家で食事した(弁当持参を含む)と仮定すれば、家族 4 人の 1 カ月の食費は(946.83 円+775.72 円+980.70 円+685.51 円)×30 日 \Rightarrow 101,663 円となる。

40 代世帯の生活実態調査によると、朝食は「家でしっかり食べる」(79.6%)が最も多く、次いで「家で牛乳やコーヒーなどですます」(8.3%)であり、夕食についても「家で家族と食べる」(92.4%)、「家で一人で食べる」(7.0%)という結果であったので、家族 4 人とも朝食と夕食は家で食べるものとした。

昼食については、「家から弁当持参」(34.4%)が最も多く、次いで「家で食べる」(24.2%)、「職場の給食を食べる」(18.5%)、「弁当やパンなどを買って職場で食べる」(18.5%)と続いていた。つまり、弁当持参派が約3.5割と外食派が約6割である。したがって、夫については、弁当持参と外食を半々とし、妻については、専業主婦またはパートという設定から家で食べる(弁当持参を含む)ものとした。中学生と小学生については、静岡市立の学校に通っているという設定から、給食実施日の昼

食は学校給食とし、それ以外は家で食べるものとした。

昼食の外食は、コンビニ弁当を購入するものとし(「3. 算定の方法」の(2)の表 5)、生活実態調査結果の外食(昼食)代の平均は1食約527円であったこと、若年単身世帯モデルの昼食代を1食500円としたことを考慮して、1食の費用を500円とした。中学校と小学校の給食のエネルギー量と費用は表 5の通りとする。

仕事の後や休日にお酒やお茶を飲んだり会食したり(以下、会食)する回数について、生活実態調査結果では、回答の多い順に、「ほとんどない」(50.3%)、「月に $1\sim2$ 回程度」(43.9%)、「月に $3\sim4$ 回程度」(3.2%)、「週に $1\sim2$ 回程度」(1.3%)となっており、会食 1 回の平均費用は約4,483 円(最頻値は5,000 円(30.1%)、次が3,000 円(15.7%))であった。ほとんど会食しない回答と月に1 回程度以上会食する回答がほぼ半数に分かれていることをふまえて、夫と妻それぞれ月に1 回の会食をするものとし、1 回の費用を、夫は3,000 円、妻は1,500 円とした。中学生と小学生の会食は、月に1 回で費用は1,000 円とした。会食の内容とエネルギー量は3. 算定の方法」の3. 第二の表 3. 6による。

以上に述べた朝食・昼食・夕食の取り方と外食(コンビニ弁当・学校給食・会食)のエネルギー量・ 回数・費用をもとに、各家族構成員の1カ月の食料費を算出した。

①夫(40代男性)

家での食事 63,083 kcal 22,539 円 (946.83 円×63,083kcal÷2,650kcal)

昼食(給食) 14,860 kcal 8,000 円 (1食 743 kcal で 400 円、20 食分)

会食(1回) 1,557 kcal 3,000 円

廃棄分 (5%) 3,154kcal 1,127 円 (946.83 円×3,154kcal÷2,650kcal)

合計 82,654 kcal 34,666 円

注 1)「家での食事」のエネルギー量は、1 カ月のエネルギー必要量(40 代男性は 79,500kcal)から昼食(外食や給食)と会食分を減じたもの。以下、2~④まで同様。

2) 廃棄分(5%)は、「家での食事」のエネルギー量の5%のこと。以下、②~④まで同様。

00 000

3) () 内の食料費の計算方法は、数値が異なるだけで②~④まで同様のため、以下では省略。

②妻(40代女性)

字での会す

家での食事	58,885	kcal	22,839	円
会食 (1回)	1,115	kcal	1,500	円
廃棄分(5%)	2,944	kcal	1,142	円
合計	62,944	kcal	25,481	円
③中学生(12~	14 歳男性)			
家での食事	64,985	kcal	24,512	円
昼食(給食)	12,163	kcal	4,257	円
会食 (1回)	852	kcal	1,000	円
廃棄分(5%)	3,249	kcal	1,225	円
合計	81,249	kcal	30,994	円
④小学性(8~9	歳女性)			
家での食事	40,506	kcal	16,334	円
昼食(給食)	9,642	kcal	3,797	円
会食 (1回)	852	kcal	1,000	円
廃棄分(5%)	2,025	kcal	817	円
合計	53,025	kcal	21,948	円

1カ月の食料費(4人計) 113,089円

建中学校給食

年間 178 日、 1 食 287 円・820kcal 月額 178×287÷12≒4,257 円 年間 820×178=145,960kcal 月平均 145,960÷12≒12,163kcal

净小学校給食

年間 178 日

月額 3,797 円、1 食 650kcal 年間 650×178=115,700kcal 月平均 115,700÷12≒9,642kcal

(2) 住居費の算定

「3. 算定の方法」の(3)で述べたように、民間賃貸住宅(47.5~50 ㎡、間取り 3DK)の家賃の半数は月額5万円台~6万円台(築33年で5万円、築28年と32年で5.5万円、築30年で6.5万円)

であった。他方、生活実態調査(静岡市在住の 40 代世帯)で家賃を回答した者は 24 人で、平均金額は 6.3 万円であった。更新料を有額回答した者は 7 人にすぎなかった。以上の点から、ここでは、築年数も考慮して、家賃(3DK で 47.5 ㎡、築 28 年)を月額 53,000 円と想定し、若年単身世帯モデルと同様に更新料はないものとした。

家賃 月 53,000円(共益費は、「交際費・その他」の項目で計上)

更新料 0 円 **合計 53,000 円**

(3) 光熱・水道費の算定

40代世帯モデルの光熱・水道費は、「3. 算定の方法」の表8より、月額18,474円と推計した。

(4) 家具・家事用品費の算定

家具・家事用品費については、「3. 算定の方法」の(1)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

1) 設備機器・家事用耐久財及び冷暖房機器

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
温水洗浄便座	18,036	6	1	251	
電子・ガスレンジ	18,144	6	1	252	
自動炊飯器	8,078	6	1	112	5.5 合、 I H
電気冷蔵庫	69,984	6	1	972	500L
電気掃除機	7,538	6	1	105	
電気洗濯機	64,584	6	1	897	全自動7kg
ガステーブル	16,956	6	1	236	2 □
カセットコンロ	2,127	6	1	30	
トースター	1,911	6	1	27	
電気アイロン	7,538	6	1	105	
電気ポット	7,538	6	1	105	ケトル、1L
ホットプレート	2,667	6	1	37	
ルームエアコン	58,800	6	2	1,633	木造 6 畳まで 2.2KW
ホットカーペット	17,800	6	1	247	
扇風機	6,458	6	1	90	45W 位
小 計				5,099	

注 1)価格は消費税抜きで、単位は円。

2)各品目の月価格の合計金額と小計の金額は、端数処理のため必ずしも一致しない。以下同様。

2) 居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
整理ダンス(作り付け除く)	15,649	15	1	87	4段チェスト (83×41×88)
洋服ダンス (作り付け除く)	11,000	15	1	61	
カラーボックス (ラック)	835	3	2	46	3段タイプ
ソファー	19,900	8	1	207	
腰掛机・学習机(椅子含む)	21,700	15	1	121	小学・中学・高校
食器戸棚	4,753	15	1	26	
洋式食卓セット (椅子含む)	27,688	15	1	154	4人掛け

掛(柱)時計	925	8	1	10	
目覚まし時計	648	8	1	7	
蛍光灯の傘 (照明器具)	6,480	8	3	203	1灯、LED
カーテン	3,980	3	3	332	
座布団	8,000	4	2	333	
敷き布団	19,800	4	4	1650	シングル。調査結果で は、消費量は3だが、4 とした。
掛け布団	3,700	2	4	616	シングル
タオルケット	6,480	8	4	271	
毛布	2,980	3	4	332	
シーツ	1,440	2	4	240	
まくら	1,000	3	4	112	
布団カバー	1,480	2	4	247	
まくらカバー	600	2	4	100	
小計				5,155	

3) 家事雑貨

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
ごはん茶わん	320	2	4	53	/// V (A == //21/A V /
湯飲み茶碗	288	2	4	48	
どんぶり	428	2	3	54	
コーヒー(ティー)カップ	437	2	2	36	
マグカップ	214	2	2	18	
盛り皿・盛りばち(洋)	428	2	4	71	
スープ皿	428	2	3	54	
パン・ケーキ皿	216	2	4	36	
グラタン皿	324	2	2	27	
盛り皿(和皿)	540	2	3	68	
中皿 (和皿)	320	2	4	53	
小皿(和皿)	266	2	4	44	
コップ	201	2	8	67	ガラス製
スプーン	137	5	6	14	
フォーク	137	5	5	11	
ナイフ	536	5	2	18	
水筒	2,127	5	3	106	
きゅうす	644	2	1	27	
砂糖入れ	320	5	1	5	2個セット
しょうゆ差し	428	5	1	7	
弁当箱(ランチャー)	2,667	5	4	177	調査結果では、消費量は 3 だが、4 とした。
タッパー	246	5	6	25	
盆	860	5	1	14	
大なべ	1,911	5	1	32	20∼22 cm
中なべ	753	5	1	13	両手持ち蓋あり
小なべ	753	5	1	13	16∼18 cm

フライパン	753	5	1	13	
やかん	1,058	5	1	18	2.5L
米びつ (ハイザー)	5,367	5	1	89	10 kg∼12 kg
水切りかご・ざる	1,263	4	1	26	直径 21 センチ
ボール	320	5	2	11	
台所用はかり	752	5	1	13	
包丁・ナイフ	968	5	2	32	包丁
まな板	428	5	1	7	
たわし	104	1	1	9	スポンジタイプ
おろし器	245	5	1	4	
はし・菜ばし	320	5	4	21	はし。調査結果では、消 費量は3だが、4とした。
しゃもじ	245	5	1	4	
ふきん	321	1	4	36	3枚入り
フライ返し	105	5	1	2	
泡立て器	1,047	5	1	17	
物干しざお	1,587	5	1	26	2.2m~4m に伸縮
ポリバケツ・ゴミ入れ	1,263	5	1	21	ポリバケツ形
くずかご	428	5	2	14	
洗濯用バケツ・かご	493	5	1	8	
タオル	428	1	11	392	
バスタオル	644	1	4	215	
電球(非 LED)	212	1	2	35	40 形
電球 (LED)	698	8	1	7	
蛍光灯(非 LED)	959	3	4	53	30形と32形の2本セット
蛍光灯(LED)	6,447	12	1	45	
裁縫箱	2,667	5	1	44	
裁ちばさみ	2,559	5	1	43	
アイロン台	1,076	5	1	18	
ドライバー	320	15	2	4	セット
空気入れ	860	5	1	14	
鉢・プランタン	382	5	3	19	
懐中電灯	265	5	2	9	
傘立て	860	5	1	14	
バスマット	709	2	1	30	
洗面器	212	5	1	4	
小 計				2,409	

4) 家事用消耗品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
ポリ袋	128	-	月5袋	64	45L×10 (可燃・不燃用)
ラップ	142	-	月1箱	142	
ティッシュペーパー (箱)	245	-	月2箱	98	5 箱
トイレットペーパー	320	-	月6個	160	12 ロール
台所洗剤	135	-	月1本	135	

トイレ用洗剤	147	-	月1本	147	
住宅用洗剤	147		月1本	147	
洗濯用洗剤	297	-	月1本	297	
漂白剤	93	-	月1本	93	600 mℓ
小計				1,284	

合計 13,947 円

(5)被服及び履物費の算定

被服及び履物費については、「3. 算定の方法」の(1)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

1)被服・履物(男性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
背広※	19,000	4	2	792	夏物除く
礼服※	33,000	5	1	550	
オーバーコート※	16,000	4	1	333	
ジャケット(替上着)※	3,000	4	2	125	ダウンジャケット(スーツにも対 応)
替ズボン (ジーンズ含む)	3,990	4	4	333	
半ズボン	750	2	3	94	
パーカー	3,990	2	2	333	
ワイシャツ	1,290	2	4	215	
長袖シャツ	990	2	4	165	
半袖シャツ	990	2	4	165	
ポロシャツ	1,990	2	3	249	単身者と同じ
セーター・カーディガン	2,990	3	2	166	
シャツ (合・冬)	1,990	1	4	663	下着・肌着(ヒートテック)
シャツ(夏)	1,990	1	4	663	下着・肌着、冬と同じ
Tシャツ	1,500	2	8	500	
ジャージ	3,990	2	2	333	
トレーナー	3,990	2	2	333	
パンツ・ブリーフ	990	1	10	825	調査結果では、消費量は7だが、 50代にそろえて10とした。
パジャマ (夏)	2,000	2	2	167	
パジャマ (冬)	2,000	2	2	167	
サンダル	690	2	1	29	単身者と同じ
靴※	7,900	2	3	988	単身者と同じ
運動靴・スニーカー	990	2	2	83	
靴下	390	2	8	130	
手袋	990	1	1	83	
ネクタイ※	4,800	2	5	1,000	単身者と同じ
マフラー	1,500	2	1	63	
バンド・ベルト	2,990	2	2	249	
小計				9,796	

注)品目名に※印のついた物は、標準価格で算定した。以下同様。

2)被服·履物(女性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
フォーマルドレス※	63,000	5	1	1,050	礼服も兼ねる
ワンピース※	6,900	4	2	288	冬物
オーバーコート※	16,000	4	2	667	
ジャケット※	5,900	4	2	246	スーツのような形
スカート	1,990	3	4	166	大人用 2、小学生用 2
同上 (小学生用)	990				
スラックス	3,990	4	3	198	大人用 2、小学生用 1
ズボン・Gパン(小学生用)	1,500				
ジャンパー	3,990	4	2	145	ジャケットブルゾン、大人用 1、
同上(小学生用)	2,990				小学生用 1
ブラウス	1,290	3	3	108	
Tシャツ・ポロシャツ	790	$\frac{1}{2}$	7	255	Tシャツ、大人用 4、小学生用
同上(小学生用)	990			255	3
長袖・半袖シャツ	1,290	2	5	269	
セーター・カーディガン 同上(小学生用)	1,990 1,990	3	4	221	大人用 2、小学生用 2
パンティー	500	1	10	346	大人用 5、小学生用 5、小学生 用の価格は 2 枚セット
パンツ(小学生用)	330				
ブラジャー	1,990	2	5	415	
シャツ(肌着)	990	1	4	263	大人用 2、小学生用 2
同上(小学生用)	590	-			700011 (11,111)
ジャージ	1,900	$\frac{1}{2}$	2	142	大人用 1、小学生用 1
同上(小学生用)	1,500				7 5 5 6 7 5 7 5 7 5 7 7 5 7 7 5 7 7 5 7 7 7 7
トレーナー	1,290	$\frac{1}{2}$	2	95	大人用 1、小学生用 1
同上(小学生用)	990				
スリッパ	990	1	1	83	We to be a series
サンダル	690	2	2	58	単身者と同じ
靴・ブーツ※	2,990	2	3	374	ロングブーツ
運動靴・スニーカー	990	$\frac{1}{2}$	2	83	大人用 1、小学生用(22cm)1
同上 (小学生用)	990				
パンティストッキング	284	1	4	95	単身者と同じ
ソックス	350	$\frac{1}{2}$	8	91	大人用 4、小学生用 4、小学生
同上(小学生用)	590				用の価格は3足セット
手袋	990	1	2	166	調査結果では、消費量は1だが、 2とした。
ベルト	1	2	2	89	単身者と同じ
78 1	1,069	4			177 111
エプロン 小 計	1,069 1,990	1	2	332	177 2 277 1

3) クリーニング代

背広(2)・フォーマルドレス(1)・ワンピース(2)・オーバーコート(男性1、女性2)の計8着

分のクリーニング代(1着1,050円)を想定した。

1,050 円×8 着÷12 カ月≒月額 700 円

合計 16,736 円

(6) 保健医療費の算定

生活実態調査の結果によれば、40代世帯の平均医療費は月額9,458円であった。

保健医療用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
体重計	1,008	6	1	14	
救急箱・救急セット	4,320	5	1	72	ケース+薬、アマゾンで調 査
小 計				86	消費税込

合計 9,458 円+86 円=9,544 円 (消費税込)

(7) 交通・通信費の算定

交通費の算定は、「3. 算定の方法」の(7)で述べたように、夫の通勤は自家用車を利用するものとした。

また、40 代世帯モデルでは普通自動車 1 台(2,000cc クラス、使用済み年数を 7 年、使用年数を 6 年)の所有を想定したので、その費用を下記のように算定した。

1) 自動車関係費:普通乗用車(40代世帯モデル)

- (10 4 11)	۵ / / ۰ /		
金額(円)	備考	6年間の金 額(円)	1カ月当た り の 額 (円)
880,000		880,000	12,222
226,620		875,720	12,162
70,400		70,400	_
26,400		26,400	_
39,500		237,000	—
16,400	2年分 32,800 円の 1/2	98,400	_
13,920	2年分 27,840 円の 1/2	83,520	_
60,000	夫婦2名を対象	360,000	_
1		215,274	2,990
18,500	6年間で2回	37,000	_
1,480	同上	2,960	—
1,700	同上	3,400	—
*詳細は下	表を参照	159,180	_
6 0.000.000.000.000.000.000.000.000.000.	0.01.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11	12,734	
4,760		_	4,760
11,607		_	11,607
			43,741
	金額 (円) 880,000 226,620 70,400 26,400 39,500 16,400 13,920 60,000 18,500 1,480 1,700 *詳細は下	880,000 226,620 70,400 26,400 39,500 16,400 2年分32,800円の1/2 13,920 2年分27,840円の1/2 60,000 夫婦2名を対象 18,500 6年間で2回 1,480 同上 1,700 同上 *詳細は下表を参照	金額(円) 備考 6年間の金額(円) 880,000 880,000 226,620 875,720 70,400 70,400 26,400 26,400 39,500 237,000 16,400 2年分32,800円の1/2 98,400 13,920 2年分27,840円の1/2 83,520 60,000 夫婦2名を対象 360,000 215,274 18,500 6年間で2回 37,000 1,480 同上 2,960 1,700 同上 3,400 *詳細は下表を参照 159,180 12,734 4,760 -

注 1)7 年落ち(2009 年に初回登録、7.4 万km走行)の中古普通乗用車(2000cc クラス)を購入後 6 年 使用する(車検直前に手放す)。

2)Web サイトで条件に合った中古車は37台で、価格(消費税と車検基本料金込み)の最低が49.0万円、最高が174万円、平均が111万円、安い方から10台目の価格は約88万円(消費税抜き)。

2016年11月調查。

- 3)消費税率は8%で不変とした。
- 4)任意保険の契約内容は、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額=車対車免ゼロ、搭乗者 傷害=1,000 万円で 20 等級とした。
 - 5)車検と印紙代については、Web サイトで調べた最低価格を採用した。2016年11月調査。
- 6)ガソリン代については、生活実態調査(40代世帯)より、自家用車を保有している世帯(バイクを保有している世帯を除く、集計数144)の自家用車1台当たりの月平均額を求めた。

部品・消耗品の交換費用

111/ 111/ 111/ 11/ 11/ 11/ 11/ 11/ 11/					
費目	交換時期	部品代	工賃	交換回	6 年間の
Į p	文/夹吋沟	(円)	(円)	数/6 年	金額 (円)
エンジンオイル 3L	10,000 kmごと	3,150	0	6	18,900
オイルフィルター	10,000 kmごと	1,050	1,050	6	12,600
バッテリー交換	4年間に1回	6,300	0	2	12,600
冷却水交換 4L	10 万kmごと	5,040	2,100	1	7,140
スパークプラグ	5万kmごと	1,050	2,520	2	7,140
エアコン・フィルタ取替	1回	4,200	2,100	1	6,300
タイヤ交換 4本	4万kmごと	12,600	4,200	2	33,600
ブレーキフルード	車検時	2,100	2,100	2	8,400
フロントブレーキパッド	40,000 kmごと	8,400	4,200	2	25,200
リアブレーキシュー	40,000 kmごと	3,150	6,300	2	18,900
ワイパーブレードラバー	年1回	1,680	0	5	8,400
合 計					159,180

注 1)部品・消耗品の交換費用については、整備工場 2 社に問い合わせて設定した。2016 年 6 月調査。

2) 部品交換時に12カ月点検を含むものとした。

上表(自動車関係費)の月額平均ガソリン代(11,607円)を 2016年 11 月時点のガソリン価格(132円 ℓ)で除したものに、燃費(普通乗用車: ℓ 11km/ ℓ)を乗じ、それを 12 倍することによって 1 年間の走行距離(11,607km)を算定し、これを 6 倍した。

1カ月分の自動車関係費 43,741円 (消費税込)

2) 交通用具

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)	
自転車 (大人用)	11,700	9	9	1,284	 大人用 1、小学生用 1	
同上 (小学生用)	19,116	<u> </u>	2	1,284	74 人人用 1、小子生用 1	
ヘルメット	2,127	3	1 59		小学生用、使用年数は、スポーツ器具	
* * /	2,121	Э	1	99	とみなして3年	
小 計				1,343		

40代世帯モデルの通信費は、「3. 算定の方法」の(8)の表 7 より、月額 **17,911** 円と推計した。 合計 43,741 円+1,343 円+17,911 円=**62,995** 円

(8) 教育費の算定

小学生 (公立、 $3\cdot 4$ 年) と中学生 (公立、 $1\sim 3$ 年) の教育費については、「3. 算定の方法」の (7) により試算した。小学生の教育費は、30代家族と同様で、月額 2,125 円、中学生の教育費は、下表のとおりである。

中学生の教育費(年額、円)

	第1学年	第2学年	第3学年	1 学年当たりの
項目	支出率	支出率	支出率	支出者平均額
学習費総額				424,333
学校教育費 小計		1 -	 - - -	119,333
修学旅行・遠足・見学費	79.0	89.9	82.2	27,000
学級・児童会・生徒会費	88.8	87.0	89.3	5,000
PTA会費	100.0	100.0	100.0	4,000
その他の学校納付金	84.3	81.8	80.1	5,000
学用品・実験実習材料費	99.7	98.0	97.8	20,000
教科外活動費	92.9	87.9	78.5	38,000
制服	94.9	35.6	39.0	15,333
その他	80.9	57.2	70.0	5,000
学校外活動費 小計		r 		305,000
図書費	68.5	64.5	77.9	13,000
学習塾費	60.6	65.3	84.3	292,000

- 注 1)「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。
 - 2)制服の支出者平均額は第1学年の額の1/3とした。
 - 3)かばん・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外
 - 4)学習机・いす・本棚・補助学習用のパソコン等の物品費は、家具・家事用品、教養娯楽費で計上した ので除外
- 5)図書費とは、参考書・問題集・辞書・百科事典・学習用パソコンソフト等の購入費 小計 424,333 円÷12 カ月 = 35,361 円 (月額)
- **合計** 2,125 円+35,361 円=**37,486** 円 (消費税込)

(9) 教養娯楽費の算定

1)教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品

, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1	1		1	ı
品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
カラーテレビ	117,480	5	1	1,958	
DVD (BD) プレイヤー	34,800	5	1	580	ブルーレイ込み
カメラ・デジカメ	10,000	5	1	167	デジカメ
ビデオカメラ	35,300	5	1	588	
プリンター	4,780	5	1	80	
パソコン (ノート)	77,800	4	1	1,621	
文庫本・雑誌	750	-	1	750	
水着 (男性用)	1,799	2	1	75	
水着 (女性用)	4,212				調査結果では、消費量は1だが、
同上(小学生用)	1,500	2	2	238	2とした。大人用1単身者と同
[四工 (小子土用)	1,000				じ、小学生用 1
テレビゲーム機	20.020	E	1	500	ニンテンドー3DS、アダプタ
ノレビグーム機	29,980	5		500	一付き
ゲームソフト	1,980	3	7	385	
USBメモリ	880	2	2	73	16GB
小 計				7,015	消費税込

- 2) 教養娯楽サービス費の算定は、下記の通り。
- ①日帰り行楽について

40 代世帯の生活実態調査結果では、月に 0 回が最も多く(59.9%)、ついで 1 回(28.7%)、 $2\sim3$ 回が計 10.8%、1 回の費用は平均 10,571 円であった。この結果をふまえて、家族で 2 ヵ月に 1 回、1 回あたりの費用は 10,000 円とした(月あたり費用 5,000 円)。

②一泊以上の旅行について

生活実態調査結果では、年に0回が最も多く(40.8%)、ついで1回(35.0%)、2回以上が計23.6%、1回の費用は平均65,886円であった。この結果をふまえて、家族で年に0.5回(2年に1回)、1回あたりの費用は50,000円で、年に25,000円とした(月あたり費用<math>2,083円)。

③休日(余暇)の過ごし方について

生活実態調査結果(3 つまでの回答)では、「自宅で休養」が最も多く(70.7%)、ついで「家事や育児」(64.3%)、「ショッピング」(47.1%)、「日帰り行楽」(23.6%)、「スポーツなど体力づくり」(18.4%)、「友人・知人との交際」(7.6%)、「映画などの鑑賞」(7.0%)、「社会活動(平和・組合・地域活動を含む)」(5.1%)、「その他の趣味」(5.1%)であった(5%未満の回答項目は省略)。「日帰り行楽」以外に、「ショッピング」・「スポーツなど体力づくり」・「社会活動」・「友人・知人との交際」・「映画などの鑑賞」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っていると想定し、1人2,000円×4人=8,000円を計上する。

小計 5,000 円+2,083 円+8,000 円=月額 15,083 円

3) NHK受信料+インターネット接続料=1,310 円+3,000 円=月額 **4,310 円** 合計 7,015 円+15,083 円+4,310 円**=26,408** (消費税込)

(10) その他の消費支出の算定

1) 理美容用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
ヘアドライヤー	1,780	6	1	25	
電気カミソリ	1,080	6	1	15	
カミソリ	149	-	月1本	50	女性用(3本)
歯ブラシ	98	-	4	392	歯ブラシ
ヘアブラシ	243	3	1	7	女性用
石鹸	98	-	月1個	98	固形石鹸
化粧石鹸	305	-	月1本	305	チューブ
シャンプー	255	-	月1本	255	詰め替え用
リンス・コンディショナー	255	-	月1本	255	詰め替え用
ボディーシャンプー	138	-	月1本	138	詰め替え用
歯磨き	98	-	月1本	98	
化粧クリーム	2,700	-	月1本	2,700	
化粧水	2,116	-	月1本	2,116	
乳液	2,300	-	月1本	2,300	
ファンデーション	864	-	月1本	864	
口紅	972	-	月1本	972	
小 計				10,590	消費税込

2) 理美容サービス費

40代世帯モデル(4人)の家族構成は、40代夫婦と中学生(男性)・小学生(女性)だから、「3. 算定の方法」の(6)より、下記のように算定した。

$(4,000 \ \text{円}+2,000 \ \text{円}) \div 2 \ \text{カ月} + (10,000 \ \text{円}+2,000 \ \text{円}) \div 3 \ \text{カ月} = 7,000 \ \text{円}$ (月額)

3) 身の回り用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
傘	1,600 (1,000)				大人男性(中学生を含
同上(小学生用)	580	2	4	199	む) 用 2、大人女性用 1、 小学生用 1
雨がっぱ	3,900	4	2	112	大人用 1、小学生用 1
同上 (小学生用)	1,480	4	4	112	八八用 1、小子主用 1
旅行用かばん・スーツケース	5,000 (5,000)	5	2	167	男性用 1、女性用 1
ショルダーバッグ (女性)	5,500	5	2	183	
ハンドバッグ	2,480 (3,900)	5	2	106	男性用 1 アマゾンで調 査、女性用 1
ショッピングバッグ	2,100	5	2	70	
リュックサック・デイバッグ	3,229	5	2	108	男性用 1、女性用 1
ランドセル	22,000	6	1	306	使用年数は「基準」で は 5 年だが、実態に合 わせて 6 年とした。ア マゾンで調査
財布※	5,000(9,000)	5	2	233	男性用 1、女性用 1
腕時計(男性用)※	14,000	10	1	117	
腕時計(女性用)※	18,000	10	1	150	
帽子 (男性用)	1,620				大人男性(中学生を含
同上(女性用)	1,900	1	4	510	む) 用 2、大人女性用 1、
同上 (小学生用、女)	980	1	T	010	子ども(小学生)女性 用 1
ハンカチ	324	1	10	270	
小 計				2,531	消費税込

注)()外の価格は男性用、()内が女性用。

4) 交際費・その他

- 「3. 算定の方法」の(10)で計算したように、下記の通りである。
- ①結婚式やお葬式・法事
- 年2回(結婚式=1回、葬式・法事=1回)参加、として計60,000円
- ②お中元やお歳暮
- 年間2軒、1軒の費用3,000円として計6,000円
- ③見舞金、せん別、お年玉
- 年間 4 回、(10,000 円+3,000 円×3 回) として計 19,000 円
- ④賃貸住宅の共益費(管理費)は、月0円とした。
- ⑤忘年会や新年会、歓送迎会
- 年間 5 回、夫 5,000 円×3 回+妻 4,000 円×2 回として計 23,000 円
- ⑥労働組合費は、月3,200円を想定(年間38,400円)
- ⑦町内会・自治会費として、年間3,000円(月額250円)
- ⑧その他会費として、夫婦で年間 3,000 円×2 人=6,000 円を想定
- 小計(60,000 円+6,000 円+19,000 円+23,000 円+38,400 円+3,000 円+6,000 円)÷12 カ月 ≒**12,950** 円(月額)

5) 自由裁量費

「3. 算定の方法」の(10)の⑨で述べたように、夫婦は各々月 6,000 円、小・中学生は各々月 3,000 円だから。

小計 $6,000 \, \text{円} \times 2 \, \text{人} + 3,000 \, \text{円} \times 2 \, \text{人} = 18,000 \, \text{円} (月 額)$

合計 10,590 円+7,000 円+2,531 円+12,950 円+18,000 円=**51,071 円** (消費税込)

(11) 非消費支出

「3. 算定の方法」の(12)より、

 $(706,643 \ \text{円}\ (社会保険料) + 270,257 \ \text{円}\ (所得税・住民税)) ÷ 12 カ月 <math>\Rightarrow$ 81,408 $\ \text{円}\ (月額)$

(12) 予備費

「3. 算定の方法」の(11)で述べたように、予備費は、消費支出の1割である。

(まとめ)

以上の試算結果が示す40世帯モデルはこんな生活内容である。

3DK で 53,000 円の賃貸アパートに住み、食べ盛りの子どもが 2 人いるが、食費は 4 人で 1 日 3,800 円ほど (子どもの給食費含む)。普通乗用車の中古を 1 台もち、維持費には 1 ヵ月約 44,000 円かかる。中学生の教育費は年間 40 万円強 (月額約 35,000 円)。家族で出かける日帰り旅行は 2 ヵ月に 1 回(費用は 10,000 円)、一泊以上の旅行には 2 年に 1 回のペース (4 人で 1 回 50,000 円)、「ショッピング」や「映画鑑賞」などの日帰り行楽にもそれぞれ月 1 度 (1 人 2,000 円)は出かける。

室内の装備や被服の数は 30 代同様に慎ましいが、男性は 2π 月に 1 回 (2,000 円~4,000 円) 理容室へ、女性は 3π 月に 1 回 (2,000 円~10,000 円) 美容室に通うなど、人前に出ても恥ずかしくないくらいの生活を送っている。単身や 30 代世帯と違ってくるのは、40 代からお中元・お歳暮(年間 2軒、1軒 3,000円) を贈る習慣が増えてくることである。

40 代世帯モデル総括表

	静岡県	愛知県	北海道	新潟県	静岡県	首都圏	
地域	静岡市	名古屋市	札幌市	新潟市	静岡市	さいたま 市	
調査年	2015 年調査	2015 年調査	2016 年調査	2015 年調査	2010 年調査	2008 年調査	
		40 代男性			45 歳男性		
 家族構成		40 代女性			43 歳女性		
承派将 从		中学生			13 歳男性		
		小学生		9 歳女性			
居住面積(賃貸)		47.5 m ²			50 m ²		
A 消費支出 (1~10)	402,750	425,652	415,872	439,873	388,203	422,614	
1 食料	113,089	113,196	115,138	112,600	103,841	123,794	
2 住居	53,000	55,000	50,000	56,000	64,000	66,667	
3 光熱・水道	18,474	19,961	18,834	22,686	20,117	20,183	
4 家具・家事用品	13,947	16,717	14,180	11,143	6,716	12,804	
5 被服・履物	16,736	19,850	18,882	15,827	21,263	24,173	
6 保健医療	9,544	7,071	9,944	8,900	12,519	11,235	
7 交通・通信	62,995	74,155	69,660	76,141	44,514	32,747	

8 教育	37,486	37,486	37,486	46,027	37,480	42,667
9 教養娯楽	26,408	30,823	33,814	40,111	30,644	38,035
10 その他	51,071	51,393	47,934	50,438	47,109	50,309
B 非消費支出	81,408	85,566	85,197	90,324	90,100	99,038
C 予備費	40,200	42,500	41,500	43,900	38,820	42,000
最低生計費(税抜き)A+C	442,950	468,152	457,372	483,773	427,023	464,614
D 同上 (税込み) A+B+C	524,358	553,718	542,569	574,097	517,123	563,652
同上 (税込み) 年額 D×12	6,292,296	6,644,616	6,510,828	6,889,164	6,205,476	6,763,824

4-3 50代世帯モデルの最低生計費

(1)食料費の算定

50 代世帯モデル(50 代の夫婦・大学生・高校生の 4 人家族)における子どもの設定は、大学生は $18\sim21$ 歳(男性)、高校生は $15\sim17$ 歳(女性)として算定する。

すべて家で食事した(弁当持参を含む)と仮定すれば、家族 4 人の 1 カ月の食費は(916.53 円+761.63 円+871.79 円)×30 日 \leftrightarrows 76,499 円となる。

50代世帯の生活実態調査によると、朝食は「家でしっかり食べる」が最も多く、夕食についても「家で家族と食べる」が最も多かった(前回調査と同じ)という結果であった。よって、家族4人とも朝食と夕食は家で食べるものとした。

昼食については、「家で食べる」(41.9%)が最も多く、次いで「弁当持参」(23.9%)であった。これは、回答者の5割近くが「短時間パート」であることによると思われる。したがって、夫については他の世代を考慮して職場の給食を利用するものとし、妻については、専業主婦またはパートという設定から家で食べる(弁当持参を含む)ものとした。高校生については、家から弁当を持参するものとした。

昼食の給食については、若年単身世帯モデルの昼食代(給食)を1食360円としたことを考慮して、1食の費用を400円とした。

仕事の後や休日にお酒やお茶を飲んだり会食したり(以下、会食)する回数について、生活実態調査結果では、回答の多い順に、「ほとんどない」(52.9%)、「月に $1\sim2$ 回程度」(35.5%)、「月に $3\sim4$ 回程度」(9.0%)となっており、会食 1 回の費用は、2,000 円から 5,000 円に分布していた。ここでは、夫は月に 1 回、妻は月に 2 回の会食をするものとし、1 回の費用を、夫は 3,000 円、妻は 1,500 円とした。高校生の会食は、月に 1 回で費用は 1,000 円とした。会食の内容とエネルギー量は「3. 算定の方法」の(2) の表 6 による。

以上に述べた朝食・昼食・夕食の取り方と外食(コンビニ弁当・学食・会食)のエネルギー量・回数・費用をもとに、各家族構成員の1カ月の食料費を算出した。

①夫(50代男性)

合計	76,354	kcal	33,422	円
廃棄分(5%)	2,854	kcal	1,068	$\ \ \square \ (916.53\ \square \times 2,854 \text{kcal} \div 2,450 \text{kcal})$
会食(1回)	1,557	kcal	3,000	円
昼食	14,860	kcal	8,000	円(1 食 743kcal で 400 円、20 食分)
家での食事	57,083	kcal	21,354	$\ \ \square \ (916.53\ \square \times 57,083 \text{kcal} \div,2450 \text{kcal})$

- 注 1)「家での食事」のエネルギー量は、1 カ月のエネルギー必要量(50 代男性は 73,500kcal)から昼食(給食)と会食分(計 16,417 kcal)を減じたもの。以下、②~④まで同様。
- 2)廃棄分(5%)は、「家での食事」のエネルギー量の5%のこと。以下、②~④まで同様。
- 3)() 内の食料費の計算方法は、数値が異なるだけで②~④まで同様のため、以下では省略。

②妻(50代女性)

家での食事	54,770	kcal	21,955	円
会食(2回)	2,230	kcal	3,000	円

廃棄分(5%)	2,739	kcal	1,098	円
合計	59,739	kcal	26,053	円
③高校生(15~	-17歳女性)	1		
家での食事	68,148	kcal	25,831	円
会食(1回)	852	kcal	1,000	円
廃棄分(5%)	3,407	kcal	1,292	円
合計	72,407	kcal	28,122	円

1カ月の食料費(3人計)

87,597 円

(2) 住居費の算定

「3. 算定の方法」の (3) で述べたように、民間賃貸住宅 (50~55 ㎡、間取り 3DK) の家賃の大半は月額 5~6 万円台で、最低が 4.3 万円、最高が 8.6 万円であった。他方、生活実態調査 (静岡市在住の 50 代世帯) で家賃を回答した者は 10 人と少なく、金額のバラツキが大きいこと、更新料も回答した者は 2 人 (0 円) にすぎなかった。以上の点から、ここでは、築年数も考慮して、家賃 (3DKで 51 ㎡、築 29 年) を月額 55,000 円と想定し、若年単身世帯モデルと同様に更新料はないものとした。

家賃 月 55,000円(共益費は、「交際費・その他」の項目で計上)

0 円

更新料

合計 55,000 円

(3) 光熱・水道費の算定

50 代世帯モデルの光熱・水道費は、「3. 算定の方法」の(9)の表8より、月額 **19,319 円**と推計した。

(4) 家具・家事用品費の算定

家具・家事用品費については、「3. 算定の方法」の(1)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・ 使用年数・消費量等を算定した。

1) 設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
温水洗浄便座	18,036	6	1	251	
電子・ガスレンジ	18,144	6	1	252	
自動炊飯器	8,078	6	1	112	5.5 合、 I H
電気冷蔵庫	69,984	6	1	972	500L
電気掃除機	7,538	6	1	105	
電気洗濯機	64,584	6	1	897	全自動7kg
ガステーブル	16,956	6	1	236	2 □
カセットコンロ	2,127	6	1	30	
トースター	2,127	6	1	30	
電気アイロン	1,911	6	1	27	
電気ポット	7,538	6	1	105	ケトル、1L
ホットプレート	2,667	6	1	37	
ミシン (電動含む)	12,636	6	1	176	
ルームエアコン	58,800	6	2	1,633	6 畳用 2.2KW
電気こたつ	7,080	6	1	98	

ホットカーペット	17,800	6	1	247	
扇風機	6,458	6	2	179	45W 位
小計				5,385	

注1)価格は消費税込みで、単位は円。

2)各品目の月価格の合計金額と小計の金額は、端数処理のため必ずしも一致しない。以下同様。

2) 居間・寝室用家具及び室内装備品、寝具類

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
整理ダンス (作り付け除く)	15,649	15	2	174	4段チェスト
					(83×41×88)
洋服ダンス (作り付け除く)	11,000	15	1	61	
シングルベッド	18,765	8	1	195	
カラーボックス (ラック)	835	3	3	70	3段タイプ
腰掛机・学習机(椅子含む)	21,700	15	1	121	小学・中学・高校
本箱・本棚	7,399	15	1	41	44×30×94
食器戸棚	4,753	15	1	26	
洋式食卓セット(椅子含む)	27,688	15	1	154	4人掛け
掛(柱)時計	925	8	2	19	
目覚まし時計	648	8	2	14	
蛍光灯の傘 (照明器具)	6,480	8	4	270	1灯
カーテン	3,980	3	5	553	
座布団	1,380	4	5	144	
こたつ布団・カバー	5,980	3	1	166	
花瓶	1,000	5	2	33	
敷き布団	8,000	4	4	667	シングル
掛け布団	19,800	4	4	1,650	シングル
タオルケット	3,700	2	4	617	
毛布	2,980	3	4	331	
シーツ	1,440	2	5	300	
まくら	1,000	3	4	111	
布団カバー	1,480	2	4	247	
まくらカバー	600	2	4	100	
小 計				6,063	

2) 家事雑貨

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
ごはん茶わん	320	2	7	93	
湯飲み茶碗	288	2	7	84	
蒸し茶碗	536	2	4	89	
どんぶり	428	2	5	89	
コーヒー(ティー)カップ	437	2	5	91	
マグカップ	212	2	4	35	
吸い物わん	428	2	6	107	
盛り皿・盛りばち (洋皿)	428	2	5	89	
スープ皿	428	2	5	89	

パン・ケーキ皿	216	2	5	45	
グラタン皿	324	2	4	54	
盛り皿(和皿)	540	2	4	90	
中皿 (和皿)	320	2	4	53	
小皿 (和皿)	266	2	4	44	
コップ	201	2	10	84	ガラス製
スプーン	137	5	10	23	
フォーク	137	5	8	18	
ナイフ	536	5	5	45	
水筒	2,127	5	3	106	
きゅうす	644	2	1	27	
砂糖入れ	320	5	1	5	2個セット
しょうゆ差し	428	5	1	7	
弁当箱 (ランチャー)	2,667	5	2	89	
タッパー	246	5	10	41	
盆	860	5	2	29	
大なべ	1,911	5	1	32	20~22 cm
中なべ	753	5	1	13	両手持ち蓋あり
小なべ	753	5	1	13	16∼18 cm
フライパン	753	5	2	25	
やかん	1,058	5	1	18	2.5L
米びつ (ハイザー)	5,367	5	1	89	10 kg∼12 kg
水切りかご・ざる	1,263	4	1	26	直径 21 センチ
ボール	320	5	2	11	
台所用はかり	752	5	1	13	
包丁・ナイフ	968	5	3	48	包丁
まな板	428	5	2	14	
すり鉢・すりこぎ	569	5	1	9	
たわし	104	1	1	9	金たわし
スポンジ	104	1	1	9	
おろし器	245	5	1	4	
はし・菜ばし	320	5	4	21	はし
しゃもじ	245	5	2	8	
ふきん	321	1	5	45	3枚入り
フライ返し	105	5	1	2	
泡立て器	1,047	5	1	17	
物干しざお	1,587	5	2	53	2.2m~4m に伸縮
おたま	105	5	1	2	
ポリバケツ・ゴミ入れ	1,263	5	1	21	ポリバケツ形
くずかご	428	5	1	7	
洗濯用バケツ・かご	493	5	1	8	
ホース	1,100	5	1	18	
タオル	428	1	20	713	
バスタオル	644	1	6	322	
電球(LED)	698	8	2	15	

電球(非 LED)	212	1	2	35	40 形
蛍光灯(LED)	6,447	12	2	90	
蛍光灯(非 LED)	959	3	4	53	30 形と 32 形の 2 本セット
裁縫箱	2,667	5	1	44	
裁ちばさみ	2,559	5	1	43	
アイロン台	1,076	5	1	18	
ドライバー	320	15	1	2	セット
のこぎり	1,001	15	1	6	
金づち	644	15	1	4	
スコップ	1,076	5	1	18	
空気入れ	860	5	1	14	
鉢・プランタン	382	5	5	32	
玄関マット	690	5	1	12	
じょうろ	428	5	1	7	
懐中電灯	265	5	2	9	
傘立て	860	5	1	14	
バスマット	709	2	2	59	
洗面器	212	5	1	4	
小 計				3,575	

3) 家事用消耗品

0 / 外子/け川 が品品	1				T
品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
ポリ袋	128	-	月5袋	64	45L×10(可燃・不燃
					用)
ラップ	142	-	月1箱	142	
アルミホイル	169	-	月1箱	169	
キッチンペーパー	255	-	月 0.5 箱	128	
ティッシュペーパー (箱)	245	-	月2箱	98	5 箱
トイレットペーパー	320	-	月6個	160	12 ロール
台所洗剤	135	-	月1本	135	
トイレ用洗剤	147	-	月1本	147	
住宅用洗剤	147		月1本	147	
洗濯用洗剤	297	-	月1本	297	
漂白剤	93	-	月1本	93	600 mℓ
小 計				1,580	

合計 16,603 円

(5)被服及び履物費の算定

被服及び履物費については、「3. 算定の方法」の(1)で述べた方法にもとづいて、品目・価格・使用年数・消費量等を算定した。

1)被服・履物(男性)

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
背広※	19,000	4	3	1,188	夏物除く
礼服※	33,000	5	1	550	
オーバーコート※	16,000	4	1	333	

ジャケット※	3,000	4	2	125	若年者用と同じ
替ズボン (ジーンズ含)	3,990	4	3	249	
ワイシャツ	1,290	2	5	269	
長袖シャツ	990	2	5	206	
半袖シャツ	990	2	5	206	
ポロシャツ	1,990	2	3	249	
セーター・カーディガン	2,990	3	2	166	
シャツ (合・冬)	1,990	1	5	829	ヒートテック
シャツ (夏)	1,990	1	5	829	下着·肌着
Tシャツ	1,500	2	5	313	
ジャージ	3,990	2	2	333	
トレーナー	3,990	2	2	333	
パンツ・ブリーフ	990	1	10	825	
スリッパ	990	1	2	165	
サンダル	690	2	1	29	
靴※	7,900	2	4	1,317	
長靴	1,382	2	1	58	
運動靴・スニーカー	990	2	2	115	
靴下	390	2	10	413	
手袋	990	1	2	65	
ネクタイ※	4,800	2	8	330	
マフラー	1,500	2	2	125	
バンド・ベルト	2,990	2	3	374	
小 計				9,992	

注)品目名に※印のついた物は、標準価格で算定した。以下同様。

2)被服・履物(女性)

			F		T
品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
フォーマルドレス※	63,000	5	1	1,050	喪服
ゆかた	3,980	2	1	166	
帯	1,080	5	1	18	
ワンピース※	6,900	4	2	288	礼服も兼ねる
オーバーコート※	16,000	4	2	667	
ジャケット※	5,900	4	3	369	スーツのような形
スカート	1,990	3	5	276	
スラックス	3,990	4	5	416	ジーンズ含む
ジャンパー	3,990	4	2	166	
ブラウス	1,290	3	5	179	
Tシャツ・ポロシャツ	790	2	10	329	
長袖・半袖シャツ	1,290	2	5	269	
セーター・カーディガン	1,990	3	4	221	
パンティー	500	1	10	417	
ブラジャー	1,990	2	7	580	
シャツ(肌着)	990	1	5	413	
パジャマ(夏)	2,990	2	2	249	
パジャマ (冬)	2,990	2	2	249	

トレーナー	1,290	2	2	108	
スリッパ	990	1	2	165	
サンダル	690	2	2	58	
靴・ブーツ※	2,990	2	5	623	ロングブーツ
運動靴・スニーカー	990	2	2	83	
パンティストッキング	284	1	5	118	
ソックス	350	2	10	146	
マフラー	1,990	2	2	166	
スカーフ	980	2	2	82	
手袋	990	1	2	165	
ベルト	1,069	2	2	89	
エプロン	1,990	1	3	498	
小 計				8,620	

小計 18,611 円

3) クリーニング代

背広 (3)・フォーマルドレス (1)・ワンピース (2)・オーバーコート (男性 1、女性 2) の 9 着分のクリーニング代 (1 着 1,050 円) を想定した。

1,050 円×9 着÷12 カ月≒月額 788 円

合計 23,754 円

(6) 保健医療費の算定

生活実態調査の結果によれば、50代世帯の平均医療費は月額11,284円であった。

保健医療用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
体重計	1,008	6	1	14	
救急箱・救急セット	4,320	5	1	72	ケース+薬
小 計				86	

合計 11,284 円+86 円=11,370 円

(7) 交通・通信費の算定

交通費の算定は、50 代世帯モデルでは普通自動車 1 台(2,000cc クラス、使用済み年数を 7 年、使用年数を 6 年)の所有を想定したので、その費用を下記のように算定した。

1) 自動車関係費:普通乗用車(50代世帯モデル)

費目	金額	備考	6年間の金額	 カ月当たりの 額
車両価格(車検基本料込み)	880,000		880,000	12,222
税・保険料 (①~⑥) の計	226,620		908,720	12,163
①消費税(8%、取得時)	70,400		70,400	_
②取得税(3%、取得時)	26,400		26,400	—
③自動車税(毎年)	39,500		237,000	_
④重量税(1年分)	16,400	2 年分 32,800 円の 1/2	98,400	—
⑤自賠責保険料(1 年分)	13,920	2 年分 27,840 円の 1/2	83,520	_
⑥任意保険料(年額)	60,000	夫婦 2 名	360,000	_

整備費用(⑦~⑪) の計			215,274	2,990
⑦車検(2年ごと)	18,500	6年間で2回	37,000	_
⑧上記の消費税(8%)	1,480	同上	2,960	_
⑨印紙代	1,700	同上	3,400	_
⑩部品・消耗品の交換費用	*詳細は下	表を参照	159,180	_
⑪上記の消費税(8%)			12,734	_
駐車場代 (月額)	4,760		_	4,760
ガソリン代 (月額)	7,351		_	7,351
合 計				39,486

注 1)7 年落ち(2009 年に初回登録、7 万㎞走行)の中古普通乗用車(2000cc クラス)を購入後 6 年使用する(車検直前に手放す)。

2)Web サイトで条件に合った中古車は23 台で、価格(消費税と車検基本料金込み)の最低が49.8万円、最高が243.5万円、平均が123.2万円、安い方から3割程度の価格は約100万円(消費税抜き)。2016年11月調査。

- 3)消費税率は8%で不変とした。
- 4)任意保険の契約内容は、対人賠償無制限、対物賠償無制限、免責金額=車対車免ゼロ、搭乗者傷害=1,000万円で20等級とした。
 - 5)車検と印紙代については、Web サイトで調べた最低価格を採用した。2016年11月調査。
 - 6)ガソリン代については、生活実態調査(50代世帯)より、自家用車を保有している世帯(バイクを保有している世帯を除く、集計数145)の自家用車1台当たりの月平均額を求めた。

部品・消耗品の交換費用

	交換時期	部品代	工賃	交換回数/6年	6 年間の金 額
エンジンオイル	10,000 kmごと	3,150	0	6	18,900
オイルフィルター	10,000 kmごと	1,050	1,050	6	12,600
バッテリー交換	4年間に1回	6,300	0	2	12,600
冷却水交換	10 万kmごと	5,040	2,100	1	7,140
スパークプラグ	10 万kmごと	1,050	2,520	2	7,140
エアコン・フィルタ取替	1回	4,200	2,100	1	6,300
タイヤ交換	4万kmごと	12,600	4,200	2	33,600
ブレーキフルード	車検時	2,100	2,100	2	8,400
フロントブレーキパッド	40,000 kmごと	8,400	4,200	2	25,200
リアブレーキシュー	40,000 kmごと	3,150	6,300	2	18,900
ワイパーブレードラバー	年1回	1,680	0	5	8,400
6年間の合計					159,180

- 注 1)部品・消耗品の交換費用については、整備工場 2 社に問い合わせて設定した。2016 年 11 月調査。 2) 部品交換時に 12 カ月点検を含むものとした。
 - 3)購入後6年間の走行距離を44,106kmとし、以下のようにして算定した。

上表(自動車関係費)の月額平均ガソリン代(7,351 円)を 2015 年 11 月時点のガソリン価格(132 円/ ℓ ℓ)で除したものに、燃費(普通乗用車:11km/ ℓ ℓ)を乗じ、それを 12 倍することによって 1 年間の走行距離(7,351km)を算定し、これを 6 倍した。

1カ月分の自動車関係費 39,486円

2) 交通用具

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)	
----	----	------	-----	-----	-------------	--

<u> </u>	11 =00	_	_	^ = =	
自転車(大人用)	11,700	')	')	975	
	11.700	Zi	4	010	

3)50代世帯モデルの通信費は、「3. 算定の方法」の(8)の表7より、月額 **17,639** 円と推計した。 合計 39,486円+975円+17,639円=**58,100** 円

(8) 教育費の算定

高校生 (公立、 $1\sim3$ 年) と大学生 (国立、 $1\sim4$ 年、下宿・アパートなど) の教育費については、「3. 算定の方法」の (4) で述べた方法により試算した。結果は、下記のとおりである。

1) 高校生の教育費(年額、円)

1/ 同区工2000月 (10011)				
	第1学年	第2学年	第3学年	1 学年当たりの
項目	支出率	支出率	支出率	支出者平均額
学校教育費 計		 		199,000
修学旅行・遠足・見学費	74.1	93.0	49.1	42,000
学級・児童会・生徒会費	98.6	98.5	98.2	13,000
PTA会費	100.0	100.0	100.0	7,000
その他の学校納付金	100.0	96.5	97.3	29,000
教科書費・教科書以外の図書費	97.0	89.4	84.9	23,000
学用品・実験実習材料費	99.5	93.9	94.0	17,000
教科外活動費	87.5	82.7	71.0	49,000
制服	93.3	39.1	28.8	19,000

- 注 1)「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%)、「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。
- 2)制服の支出者平均額は第1学年の額の1/3とした。
- 3)かばん・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外
- 小計 199,000 円÷12 カ月≒16,583 円 (月額)
- 2) 大学生の教育費は、日本学生支援機構『平成 26(2014)年度学生生活調査』を用いた。大学昼間部に自宅から国立大学に通う学生の教育にかかる費用は、以下のとおりである。なお、国立大学の入学金の1年分(282,000円÷4年=70,500円)を授業料に加算している。

授業料+入学金(1年分相当額)=503,300円+70,500円=573,800円

その他学校納付金=9,600円

修学費=48,400円

課外活動費=50,700円

小計 682,500 円÷12 カ月≒56,875 円 (月額)

合計 16,583 円 + 56,875 円 = 73,458 円

(9) 教養娯楽費の算定

1) 教養娯楽用耐久財・書籍・他の刊行物・教養娯楽用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
カラーテレビ	117,480	5	2	3,916	
DVD (BD)プレイヤー	34,800	5	1	580	ブルーレイ込み
カメラ・デジカメ	10,000	5	1	167	デジカメ
ビデオカメラ	35,300	5	1	588	
プリンター	4,780	5	1	80	
パソコン (ノート)	77,800	4	1	1,621	
日刊新聞	2,900	-	1	2,900	静岡新聞朝夕刊セット

文庫本・単行本	750	-	1	750	
水着 (男性用)	1,799	2	1	75	
水着 (女性用)	4,212	2	2	351	
USB メモリ	880	2	2	73	16GB
小 計				11,101	

- 2) 教養娯楽サービス費の算定は、下記の通り。
- ①日帰り行楽について

50 代世帯の生活実態調査では、月に 0 回が最も多く(67.1%)、ついで 1 回(27.7%)、 $2\sim4$ 回が計 4.5%であった。1 回にかかる費用は、5,000 円から 10,000 円に分布していた。この結果をふまえて、家族で 3 ヵ月に 1 回、1 回あたりの費用は 10,000 円とした(月あたり費用 3,333 円)。

②1 泊以上の旅行について

生活実態調査では、年に 0 回が最も多く(47.7%)、ついで 1 回(34.2%)、2 回以上が計 17.4%であった。1 回にかかる費用は、30,000 円から 50,000 円に分布していた。この結果をふまえて、家族で2年に 1 回、1 回あたりの費用は 30,000 円で、月あたり費用 1,250 円とした。

③休日(余暇)の過ごし方について

生活実態調査結果(3 つまでの回答)では、「自宅で休養」が最も多く(121)、ついで「ショッピング」(61)、「家事や育児」(54)、「友人・知人との交際」(31)、「日帰り行楽」(29)、「園芸」(21)、「スポーツなど体力づくり」(20)などと続く(括弧内は回答者の実数)。「日帰り行楽」以外に、「ショッピング」・「スポーツなど体力づくり」・「友人・知人との交際」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っていると想定し、1人2,000円×3人=6,000円を計上する。小計 3,333円+1,250円+6,000円=月額10,583円

3) NHK受信料+インターネット接続料=1,310 円+3,000 円=月額 **4,310 円** 合計 11,101 円+10,583 円+4,310 円**=25,994** 円

(10) その他の消費支出の算定

1) 理美容用品費

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
ヘアドライヤー	1,780	6	1	25	
電気カミソリ	1,080	6	1	15	
歯ブラシ	98	-	月3本	294	
ヘアブラシ	243	3	2	14	女性用
カミソリ	149	-	月2本	99	女性用 (3本)
化粧石鹸	98	-	月1本	98	固形石鹸
化粧石鹸	305	-	月1本	305	チューブ
シャンプー	255	-	月1本	255	詰め替え用
リンス・コンディショナー	255	-	月1本	255	詰め替え用
ボディーシャンプー	138	-	月1本	138	詰め替え用
歯磨き	98	-	月1本	98	
化粧クリーム	2,700	-	月1本	2,700	
化粧水	2,116	-	月1本	2,116	
乳液	2,300	-	月1本	2,300	
ファンデーション	864	-	月1本	864	
口紅	972	-	月1本	972	
小 計				10,547	

2) 理美容サービス費

50 代世帯モデルの理美容サービス費については、「3. 算定の方法」の(6)より、50 代男性は1回4,000 円で2ヵ月に1回の利用(月当たり2,000円)、50 代女性は1回10,000円で3ヵ月に1回の利用とした(同3,333円)。なお、高校生(女性)は1回4,000円で2ヵ月に1回の利用とした(同2,000円)。

小計 2,000 円+3,333 円+2,000 円=月額 7,333 円

3) 身の回り用品

品目	価格	使用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
傘 (男性)	1,600	2	2	133	MH 3 (1 = 7)811 (1)
傘 (女性)	1,000	2	3	125	
雨がっぱ	3,900	4	2	163	
旅行用かばん・スーツケース	5,000	5	1	83	
(男性)	-,				
旅行用かばん・スーツケース	5,000	5	1	83	
(女性)	·				
ショルダーバッグ (女性)	5,500	5	2	183	
ハンドバッグ (女性)	3,900	5	2	130	
ショッピングバッグ	2,100	5	3	105	
リュックサック・デイバッグ	3,229	5	1	54	
(男性)					
リュックサック・デイバッグ	3,229	5	1	54	
(女性)					
財布(男性)※	5,000	5	1	83	
財布(女性)※	9,000	5	1	150	
財布 (女性)	5,000	5	1	83	
腕時計(男性)※	14,000	10	1	117	
腕時計(女性)※	18,000	10	1	150	
腕時計 (女性)	7,200	10	1	60	
イヤリング・ピアス※	1,500	10	3	38	
帽子 (男性)	1,620	1	1	135	
帽子(女性)	1,900	1	2	317	
キーホルダー	1,000	5	1	17	
ハンカチ	324	1	10	270	
小 計				2,533	

4) 交際費・その他

「3. 算定の方法」の(10)で計算したように、下記の通りである。

①結婚式やお葬式・法事

年3回(結婚式=1回、葬式・法事=2回)参加、3回の費用計50,000円

②お中元やお歳暮

年間2軒、1軒の費用3,000円として計6,000円

③見舞金、せん別、お年玉

年間 5 回、費用計 23,000 円

④賃貸住宅の共益費(管理費)は、インターネット調査や生活実態調査の結果を踏まえて、月額0円

⑤ 忘年会や新年会、歓送迎会

年間5回、夫1回5,000円×3回、妻1回4,000円×2回として計23,000円

- ⑥労働組合費は、賃金の1%と想定して、月3,600円を想定した(年額43,200円)
- ⑦町内会・自治会費として、年間 3,000 円 (月額 250 円)
- ⑧その他会費として、年間 3,000 円×2 人=6,000 円を想定

5) 自由裁量費

「3. 算定の方法」の(10)の⑨で述べたように、夫婦と高校生は各々月6,000円だから、 小計 6,000円×3人=18,000円(月額)

合計 10,547 円+7,333 円+2,533 円+12,850 円+18,000 円=**51,263 円** (消費税込)

- (11) 非消費支出
- 「3. 算定の方法」の(12)より、

(981,674 円 (社会保険料) +156,466 円 (所得税・住民税)) $\div 12$ カ月 \div 94,845 円 (月額)

- (12) 予備費
- 「3. 算定の方法」の(11)で述べたように、予備費は、消費支出の1割である。

(13) 仕送り費

大学生の生計費については、上記のような方式で最低生計費を試算したのではなく、日本学生支援機構の『平成 26(2014)年度学生生活調査』およびに大学生協『2015 年度保護者に聞く新入生調査』などを参考にして、仕送り費を算出した。なお、大学の授業料等については、教育費の項目で算定している。

a) 生活費

下宿している学生の年間の平均生活費(内訳は、食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他の日常費で、交通費や教育費を含めていない)は、年間 1,090,900 円(月当たり 90,908 円)であった。これに、通学費 11,700 円(月当たり 975 円)を加えた 1,102,600 円(月当たり 91,883 円)を生活費として算定した。

b) 生活用品

入学時の冷蔵庫、洗濯機、テレビ、掃除機等の生活用品を購入する費用として、平均 309,600 円かかっている。ここでは、これらの耐用年数を平均 6 年間と考えて、月当たり 4,300 円を計上する。

合計 96,183 円

(まとめ)

以上の試算結果が示す50世帯モデルはこんな生活内容である。

3DK で 55,000 円の格安の賃貸に居住。長男は首都圏にある公立大学に通っていて、年間 68 万円の教育費とは別に、仕送りも毎月約 96,000 円送っている。高校生は約 20 万円(月額 16,000 円)の教育費がかかり、家計を圧迫している。昼食について職場の給食(1 食=400 円)を利用している。飲み会・会食は、夫は月に1回(3,000 円)で、妻は2回(1回=1,500 円)高校生は1回(1,000 円)とそれぞれが近所付き合いだけでなく、個人のつき合いも広がってくる。

テレビは2台など持ち物も少し増え、全体的に消費支出が上がる。中古の普通自動車は、維持費も含めて月額4,0000円ほどかかっているが、若いころに比べると走行距離は短くなっている。日帰り行楽は3ヵ月に1回(1回10,000円)に減り、一泊旅行は2年に1回(1回=30,000円)となり、夫婦で出かけることが多くなっている。知人との交際や社会活動、スポーツなど月に1回はそれぞれがいずれかの趣味や活動をしている(1人2,000円)。しかし、こづかいは1人月6,000円とかなり慎まし

50 代世帯モデル総括表

2010世帯でナル総括及								
	静岡県	愛知県	北海道	新潟県	静岡県	首都圏		
地域	静岡市	名古屋市	札幌市	新潟市	静岡市	さいたま		
						市		
調査年	2015 年調査	2015 年調査	2016 年調査	2015 年調査	2010 年調査	2008 年調査		
50 代男性				53 歳	53 歳男性			
家族構成		50 代女性		50 歳女性		50 歳女性		
多跃性 风		大学生男性		20 歳	女性	20 歳男性		
		高校生女性		16 歳	男性	16 歳女性		
居住面積(賃貸)			50 r	'n				
A 消費支出 (1~11)	518,641	563,083	546,207	573,557	522,170	582,887		
1 食料	87,597	122,206	122,891	90,349	83,109	135,811		
2 住居	55,000	59,000	52,000	56,000	64,000	66,667		
3 光熱・水道	19,319	20,399	19,247	22,548	21,012	22,448		
4 家具・家事用品	16,603	17,025	16,695	12,180	8,258	12,804		
5 被服・履物	23,754	25,654	20,142	15,742	25,796	28,831		
6 保健医療	11,370	11,235	8,882	12,138	9,953	13,776		
7 交通・通信	58,100	85,915	86,861	76,124	53,402	46,760		
8 教育	73,458	128,649	128,724	123,225	91,271	140,341		
9 教養娯楽	25,994	30,385	30,945	29,769	22,513	41,951		
10 その他	51,263	62,615	59,820	44,356	49,593	73,498		
11 仕送り	96,183	0	0	91,126	93,263	0		
B 非消費支出	94,845	97,224	97,224	105,187	98,864	110,625		
C 予備費	51,800	56,300	54,600	57,300	52,217	57,000		
最低生計費(税抜き)A+C	570,441	619,383	600,807	630,857	574,387	639,887		
D 同上 (税込み) A+B+C	665,286	716,607	698,031	736,044	673,251	750,512		
同上 (税込み) 年額 D×12	7,983,432	8,599,284	8,376,372	8,832,528	8,079,012	9,006,144		